



ワンケーブルカメラ用レコーダー

取扱説明書

ONE CABLE CAMERA RECORDER

OC2-R4P(2TB) OC2-R8P(2TB)

保証書付



付属品

マウス	1個
ACアダプター	1本
ACコード(約1.5m)	1本
AC100Vコンセント変換アダプター	1個
HDMIケーブル(約1m)	1本

本機は、防犯を保証する機器ではありません。

ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。
あらかじめご了承ください。

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

目次

はじめに

特長	4
安全上のご注意	5
ご使用になる前に	8
使用上のご注意	8
ACアダプターのコネクター、ACプラグを抜き差しするときのご注意	9
個人情報について	9
本機の修理や譲渡、廃棄をするときのご注意	9
ネットワーク使用時のセキュリティ対策について	9
日時設定について	10
ハードディスクについて	10
商標について	10
各部の名称	11

設置する

必要な物を準備する	13
レコーダーに機器を接続する	14

基本操作と初期設定

基本操作	15
本機の起動	15
本機のシャットダウン	15
初期設定	15
マウス操作	15
ログイン	16
パスワード復旧	17
USBデバイス接続	18
初期設定	19

操作する

ライブ画面	24
コントロールバー	25
クイックメニュー	26
PTZコントロール	27
シーケンス	28
画像	29
イメージ	30
録画再生	31
再生コントロールバー	33
タイムバー	33
ビデオクリップ	34
マークリスト表示	35
ファイルリスト表示	36

詳細設定

メニュー画面	37
メインメニュー	38
設定メニュー	39
ツールバー	39
メインメニュー 一覧	40
アラーム	41
アラーム情報	41
アラーム	41
アラーム入力ポート	41
アラーム出力ポート	41
ビデオ検出	42
異常処理	46
解除	48
メンテナンス	49
ログ	49
システム情報	49
ネット情報	51
管理者	52
インテリジェンス診断	53
バックアップ	54
出力表示	55
出力表示	55
ツアール	56
シングルストリーム設定	57
音声	58
ファイル管理	58
自動出力	58
設定メニュー 一覧	59
カメラ	60
画像	60
エンコード	61
オーバーレイ	64
PTZ	66
チャンネルタイプ	67
同軸アップグレード	67
ネットワーク	68
TCP/IP	68
ポート	68
Wi-Fi	69
3G/4G	69
PPPoE	69
DDNS	70
UPnP	71
電子メール	72
SNMP	73

目次 つづき

詳細設定 つづき

マルチキャスト	73
アラームセンター	73
自動登録	73
P2P	73
ストレージ	74
基本設定	74
スケジュール	75
HDD	76
録画モード	77
クォータ設定	77
HDD検出	78
録画計算	79
FTP	80
システム	81
一般設定	81
IPフィルタ	84
セキュリティステータス	84
システムサービス	84
不正アクセス	85
CA証明書	86
A/V暗号化	86
セキュリティ警告	86
アカウント	87
ユーザー	87
グループ	89
ONVIFユーザー	89
パスワードリセット	89

バックアップした映像を見る

Smart Playerの操作	90
専用ビューアーの取得方法	90
専用ビューアーで録画ファイルを再生する	90
メインメニュー	91

スマートフォンで映像を見る

スマートフォンの設定をする	96
インターネット回線に接続する	96
アプリをインストールし、設定する	97
DMSSの操作	102
デバイス画面	102
ライブ画面	103
録画再生	104
スナップショット・録画データ確認	105
アラームメッセージ設定	105

パソコンで映像を見る

パソコンの設定をする	106
インターネット回線に接続する	106
アプリのインストール	107
SmartPSS Liteの操作	108
アプリの初期設定	108
レコーダーの登録	110
ライブビュー	112
録画再生	115

必要なとき

録画時間の目安	118
規格表	119
保証書	120

●PoC対応

PoC(Power over Coaxial)に対応していますから、同軸ケーブルを使用して、OC2シリーズのカメラに電源を給電できます。

●高画質なカメラに対応し、高画質録画

OC2シリーズカメラの映像を、最大200万画素の画質で録画ができます。

●内蔵ハードディスクに長時間録画

容量2TBのハードディスクを搭載していますから、長時間の録画ができます。

●検知機能

カメラ毎に範囲や感度などを設定して、動体検知ができます。

●常時録画だけでなく、スケジュール録画や動体検知録画に対応

カメラ毎にそれぞれの録画方法を組合せて設定できます。

●本機からカメラの設定が可能

UTC(同軸ケーブル制御機能)に対応していますから、UTCに対応したOC2シリーズカメラの設定が行えます。

遠隔で設定できますから、カメラから離れたところでも、カメラの設定が可能です。

●複数のカメラ映像を分割表示

分割表示できますから、**OC2-R8P(2TB)**では最大8台のカメラ映像を同時に確認できます。

●録画データを簡単に検索して再生

日付や時刻を選ぶことで、録画データを簡単に再生できます。

●録画データのバックアップやパソコン再生が可能

内蔵ハードディスクの録画データを、USBに接続したメモリーにバックアップできます。

バックアップした録画データをパソコンで再生できます。

●遠隔での監視や操作が可能

本機をネットワークに接続することで、本機から離れたところにあるカメラ映像や録画データを視聴できます。

- 付属のACアダプター、ACコードは本機専用です。本機以外に使用しないでください。また、他のACアダプター、ACコードを本機に使用しないでください。
- 付属のACアダプター、ACコードの使用方法は、この取扱説明書をご覧ください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。



警告

人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



禁止の行為を示しています。



行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。



警告

- 本機や付属品などを包装しているポリ袋、および細かい部品は、お子様の手の届く場所に放置しないでください。飲込むと窒息し、死亡の原因となります。
- ACアダプターは、コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ACアダプター、ACコードのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉などで挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。コードが傷んだ場合(芯線の露出や断線など)、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 本機の内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機やACアダプターは、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
 - ・押入れ・本箱・天井裏など、風通しの悪い狭いところに押し込む。
 - ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。
 - ・布や布団でおおったり、包んだりする。



⚠ 警告



- 本機やACアダプターを分解したり、改造したりしないでください。また、内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご連絡ください。
- 本機やACアダプターに水をかけたり、濡らしたりしないでください。本機やACアダプターの上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、ペットなどの動物が、本機やACアダプターの上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で、本機に触らないでください。また、ACプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 雷が鳴出したら、本機やACアダプター、ACコードには触れないでください。感電の原因となります。



- 万一、本機やACアダプターの内部に、異物や水が入った場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 万一、本機やACアダプターを落としたり、破損したりした場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いや音をするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き、煙や臭いがなくなるのを確認して販売店にご連絡ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
- ACアダプターは、ACコンセントから抜きやすい場所に設置し、ACプラグが容易に取外しできるようにしてください。
- ACアダプター、ACコードは、必ず本機にご使用ください。他の機器、または他メーカーの製品と組合せて使用しないでください。また、他の機器のACアダプター、ACコードを本機に使用しないでください。火災の原因となります。
- ACプラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。
- 本機は、定期的に掃除してください。掃除する際は、ACプラグをACコンセントから抜いてください。内部にホコリがたまっている場合は、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 配線工事は正しく、安全・確実にこなしてください。また、本機に接続されるすべての機器は、必要に応じて適切に接地されていることを確認してください。誤った配線工事は、火災・感電の原因となります。



- 接地接続は、必ずACプラグをACコンセントに差込む前に行なってください。また、接地接続を外す場合は、必ずACプラグをACコンセントから抜いた後に行なってください。

⚠ 注意

- 
- 本機やACアダプター、ACコードは、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - 本機やACアダプター、ACコードは、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。また、直射日光が当たる場所に設置しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
 - ACプラグをACコンセントから抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグの根元を持って抜いてください。
 - 本機の上に重いものを置かないでください。本機のバランスが崩れ、落下により、けがの原因となります。
 - 本機は、水平な面に設置してください。傾いた場所など不安定な場所に設置しないでください。また、壁面に取付けないでください。落下により、けがの原因となります。
 - 本機は横向きに設置してください。縦置きに設置すると、転倒により、けがの原因となります。

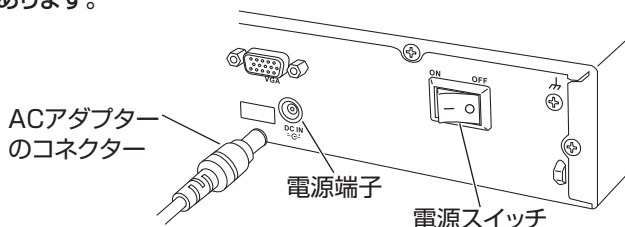
- 
- 本機を移動させる場合、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。コードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。
 - お手入れは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。
 - 長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。そのままにしておくと、火災の原因となることがあります。
 - 雷の発生が予想されるときは、前もって、ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
 - 換気扇などのモーター類を搭載した機器の電源とは別系統で配線してください。電源ノイズの影響を受け、録画や表示が正しく作動しない可能性があります。

使用上のご注意

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。海外では使用できません。
- 本機を分解・改造しないでください。分解・改造した場合は、保証対象外となります。本機が故障した場合、販売店に修理を依頼してください。
- 本機は防犯を保証する機器ではありません。ご使用中に、人命・財産などに損害が生じても、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、被写体のプライバシーや肖像権に配慮して使用してください。撮影された画像が、公になったり、使用されたりして、被写体のプライバシーや肖像権の侵害、画像の使用による損害が生じても、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機の故障、誤作動、接続機器の不具合などの原因により、正常に録画できなかった場合の、録画した内容の損失および直接・間接の損害に対して、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、インターネットに接続しなくてもご使用いただけますが、遠隔での監視や操作を行う場合、有線接続できるインターネット環境が必要です。インターネット環境には、接続するカメラの台数や映像設定に応じた、十分な通信帯域が必要です。十分な通信帯域が得られない場合、映像の途切れの発生や遠隔監視が行えなくなります。
- 本機の放熱用の開口部を塞がず、風通しの良い場所で使用してください。また、他の機器と重ねて設置しないでください。発熱により故障、性能の劣化の原因となります。
- 本機に磁石など磁気を持っているものを近づけないでください。磁気の影響を受けて作動が不安定になることがあります。
- ACアダプターを第2種環境(商業、軽工業、および工業用環境)の電源に接続しないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 作動中はACアダプターが高温になることがあります。電源を切った後も、しばらくは手触れないでください。
- 同軸ケーブルは、他の電源ケーブルなどのノイズ源からできる限り離して配線してください。ノイズ源に近接させるとカメラやレコーダーの故障の原因となります。
- 同軸ケーブルを配線するときは、電気製品など、ほかの配線に近づけないでください。画質や音質の低下または通信障害が発生する場合があります。
- 本機の各入出力端子には、規格を超えた電圧や電流を加えないでください。故障・誤作動の原因となります。
- 本機の電源を切るときは、必ず「ツールバー」(p.39)から「シャットダウン」を選択してください。「シャットダウン」を選択しないで電源を切断すると、録画データが破損する原因となります。また、システムデータが破損し故障の原因となります。
- 本機に設定されている初期パスワードは、使用を開始するときに必ず変更してください。設定した「ユーザー名」や「パスワード」は忘れることがないように管理してください。パスワードを忘れて復旧できない場合、修理対応となります。
- その他の、最新のご注意については、設置前に弊社技術相談までお問合せください。

ACアダプターのコネクター、ACプラグを抜差しするときのご注意

本機からACアダプターのコネクターを抜差しするとき、およびACプラグをACコンセントから抜差しするときは、本機の電源スイッチが「OFF」の状態で行なってください。本機の電源スイッチが「ON」の状態で行うと、火花が発生し、本機の故障や火災の原因となることがあります。



個人情報について

本機、および本機を使用したシステムで録画された、個人を特定できる映像は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。

法律に従い、録画データを適正に取扱ってください。

- 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。
- 個人情報の漏えいにより、損害が生じても、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

本機の修理や譲渡、廃棄をするときのご注意

本機、および本機を使用したシステムで使用する記憶媒体に記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。

本機の修理や譲渡、廃棄などで本機、または記憶媒体が第三者に渡る場合は、その取扱いに注意し、お客様の責任において修理、譲渡、破棄を行なってください。

修理や譲渡、破棄を行う場合は、下記の点などにご注意ください。

- 記憶媒体を取外し、記憶媒体を第三者に渡さない。
- 録画データを初期化する。
- 本機の設定を初期化する。

ネットワーク使用時のセキュリティ対策について

お客様の責任において、ネットワークのセキュリティ対策を適切に行なってください。不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により損害が生じても、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

ネットワークに接続する場合は、下記の点などにご注意ください。

- ユーザー名、パスワードは、初期設定から変更して運用してください。
- パスワードは第三者に知られないように、管理にご注意ください。

日時設定について

本機には時計機能があり、録画した映像の日時を管理できます。

この時計機能は月差約1分程度の誤差となりますから、定期的に正しい時刻に校正してください。本機をインターネット環境に接続している場合、NTP機能を使用することで自動的に日時が設定・校正されます。

ハードディスクについて

本機はハードディスクに映像を録画します。録画データの消失やハードディスクの故障・誤作動を起こさないように下記の点に注意してください。

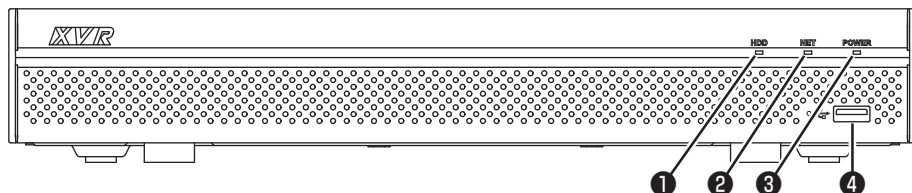
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。持ち運びの際もご注意ください。
- 振動する場所には設置しないでください。
- 電源を入れたまま本機を動かさないでください。
- 本機の電源を切るときは、必ず「ツールバー」(p.39)から「シャットダウン」を選択してください。作動中にACアダプター、ACコードを抜かないでください。
- 停電などで本機の電源が切れたときは、正常に録画が行えているか確認してください。
- 作動温度を超えた高温になる場所で使用しないでください。
- 本機の放熱用の開口部を塞がないでください。ラックなどに設置する場合は注意してください。
- ほこりや湿気の多い場所には設置しないでください。
- 放熱用の開口部付近を定期的に掃除してください。本機の内部にほこりがたまっている場合は、販売店にご相談ください。
- ハードディスクは消耗品です。1 ～ 2年ごとにハードディスクを交換してください。なお、ハードディスクから異音がするなど、異常がある場合は、ただちに交換が必要なため、販売店までご連絡ください。
- ハードディスクの交換はお客様自身では行えません。販売店までご連絡ください。なお、ハードディスクの点検や交換によって消失した録画データの補償はできません。あらかじめ録画データのバックアップを行なってください。

商標について

- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android™は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

前面

OC2-R4P(2TB)、OC2-R8P(2TB)



① ハードディスク表示灯(HDD)

ハードディスクエラー時に点灯します。

② ネットワーク表示灯(NET)

通信エラー時に点灯します。

③ 電源表示灯(POWER)

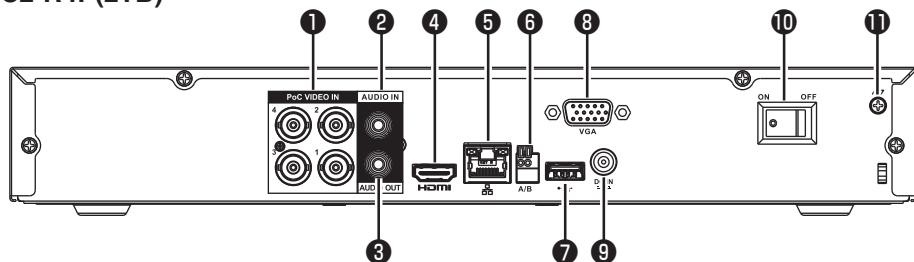
本機が起動すると点灯します。

④ USB端子

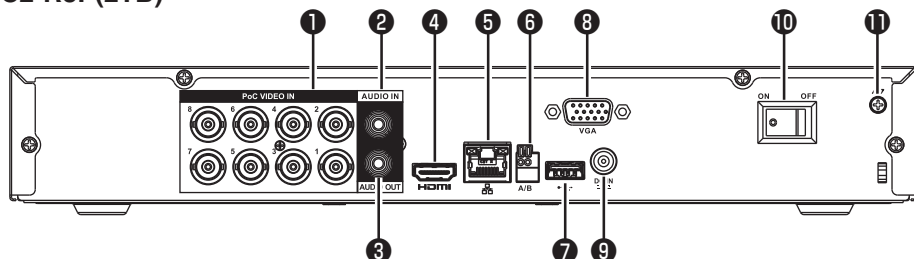
本機を操作するマウス(付属品)、およびUSBデバイス(USBメモリー、外付けHDD)を接続します。

背面

OC2-R4P(2TB)



OC2-R8P(2TB)



① ワンケーブルカメラ接続端子 (BNC端子)

ワンケーブルカメラの映像音声出力・電源入力端子を接続します。

② 音声入力端子(RCA端子)

ワンケーブルカメラの音声と別の音声を入力する場合に接続します。

③ 音声出力端子(RCA端子)

音声を出力します。

④ HDMI出力端子

モニターに接続します。映像や音声を出力します。

⑤ LAN端子

LANケーブルを接続します。

⑥ 制御端子

本機では使用しません。

⑦ USB端子

本機を操作するマウス(付属品)、およびUSBデバイス(USBメモリー、外付けHDD)を接続します。

⑧ VGA出力端子(D-SUB15ピン)

モニターに接続します。映像を出力します。

⑨ 電源端子

ACアダプター(付属品)を接続します。

⑩ 電源スイッチ

本機の電源を「ON/OFF」するためのスイッチです。

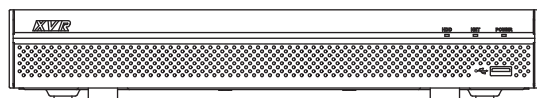
⑪ 機能アース端子

アース線を取付けてください。

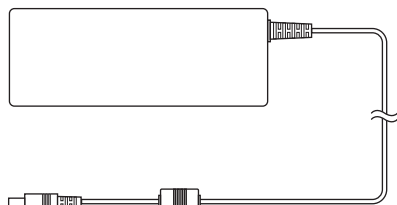
必要な物を準備する

設置する

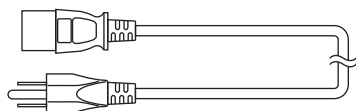
はじめに以下のものを準備します。



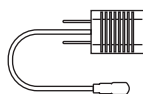
レコーダー (本機)



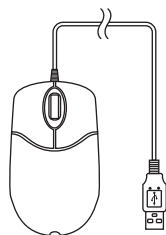
ACアダプター (付属品)



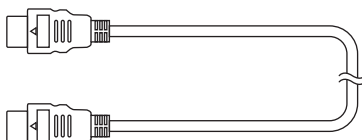
ACコード (約1.5m) (付属品)



AC100Vコンセント
変換アダプター
(付属品)



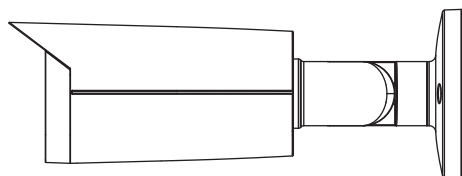
マウス (付属品)



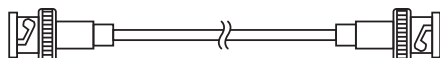
HDMIケーブル (約1m) (付属品)

- ケーブルの長さが足りない場合は、市販のHDMIケーブルを準備してください。HDMIケーブルは、ハイスピードタイプのもので選定してください。

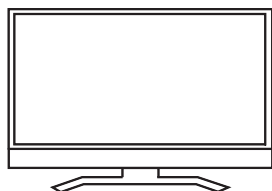
お客様で用意していただくもの



ウェブカメラ



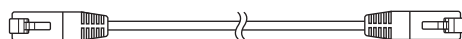
BNC型コネクタ付同軸ケーブル



モニター

- モニターは以下のいずれかの解像度に対応するものをご用意ください。
1920×1080/1280×1024/1280×720
- モニターにVGA入力端子があれば、VGAケーブルも使用できます。

使用方法によって、お客様で用意していただくもの



LANケーブル



BNC/F型変換コネクタ
(F型コネクタ付同軸ケーブルで
配線する場合)

レコーダーに機器を接続する

設置する

以下の手順でレコーダーを機器に接続します。(ネットワークを使用しない場合)

①同軸ケーブルの接続

レコーダーの設置場所まで同軸ケーブルを配線し、レコーダーのワンケーブルカメラ接続端子に接続します。

②マウスの接続

付属のマウスをレコーダーの前面または背面のUSB端子に接続します。

③モニターの接続

付属のHDMIケーブルをレコーダーのHDMI出力端子に接続します。

④ACアダプターの接続

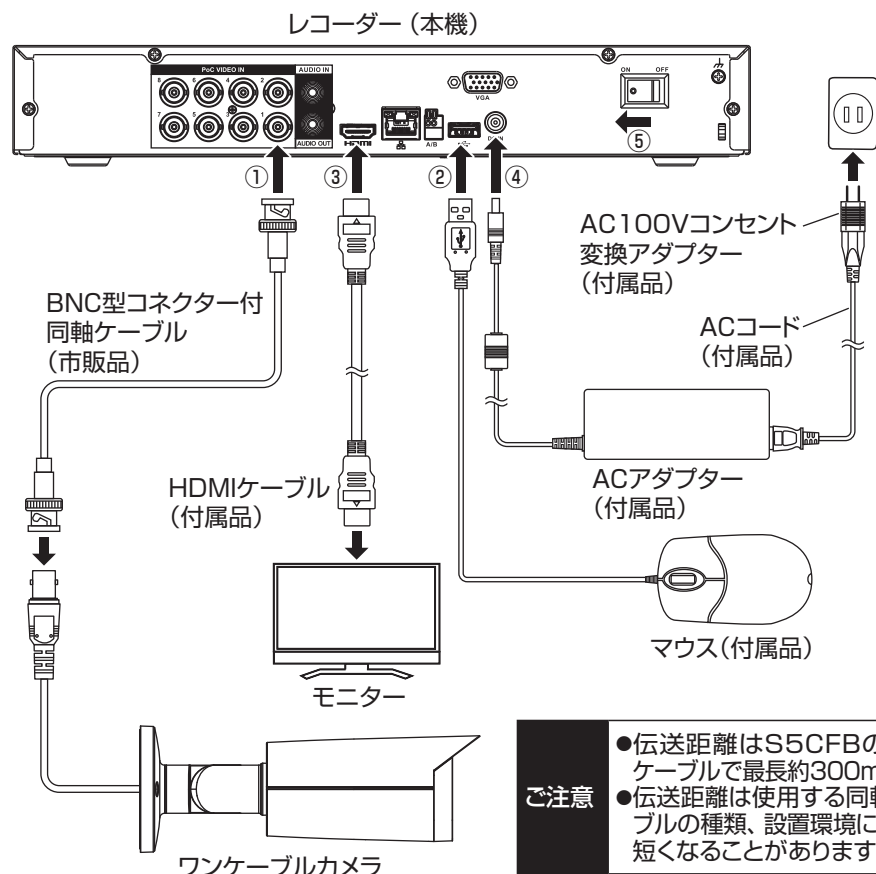
付属のACアダプターを電源端子に接続します。

⑤設定

本機の電源スイッチを「ON」にすると、本機が起動します。

レコーダーが起動するとパスワードの設定後、スタートアップウィザードにて各種設定を行います。

詳細は「初期設定」(p.19)をご覧ください。



ご注意

- 伝送距離はS5CFBの同軸ケーブルで最長約300mです。
- 伝送距離は使用する同軸ケーブルの種類、設置環境によって短くなることがあります。

本機の起動

本機にACアダプター、ACコードを接続し、ACプラグをコンセントに差込んだ後、電源スイッチを「ON」にすると、電源表示灯(POWER)が点灯し、システムが起動します。本機と接続したモニターに起動画面が表示され、本機から“ビップ”と起動音が鳴ります。起動後、「ライブ画面」(p.24)を表示します。

本機のシャットダウン

本機の電源を切るときは、「ツールバー」(p.39)の「シャットダウン」をクリックすると、シャットダウンの処理を行います。

本機と接続したモニターに「電源をオフしてください」と表示されたら、電源スイッチを「OFF」にして、ACプラグをACコンセントから抜いてください。

シャットダウンの処理をしないで電源を切った場合、録画データが消失することがありますから、ご注意ください。

初期設定

本機を初めて起動したとき、および工場出荷の状態に戻したときは、初期設定を行うウィザード画面が表示されます。ウィザードに従って初期設定を完了してください。

詳細は「初期設定」(p.19)をご確認ください。

マウス操作

本機はマウスによって操作します。マウスを動かすと、画面上のカーソルが動きます。

クリック：設定項目の表示や選択、決定を行います。

右クリック：メニューの表示、設定画面ではひとつ前の画面に戻ります。

●文字入力を行う際は、下記のソフトキーボードが表示されます。

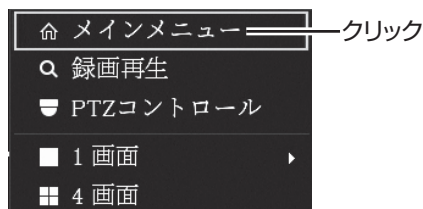


ボタン名	アイコン	説明
バックスペース		入力した文字を削除します。
エンター		入力を決定します。
大文字/小文字切換え		アルファベットの大文字と小文字を切換えます。

ログイン

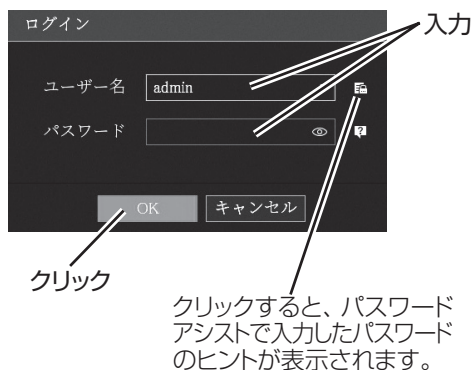
ログインするとカメラやレコーダーの設定、録画データの再生、シャットダウンが行えます。

- ①ライブ画面(p.24)で右クリックをし、表示される「クイックメニュー」の「メインメニュー」をクリックします。
- 解除パターンを設定している場合と、設定していない場合で、表示されるログイン画面が異なります。



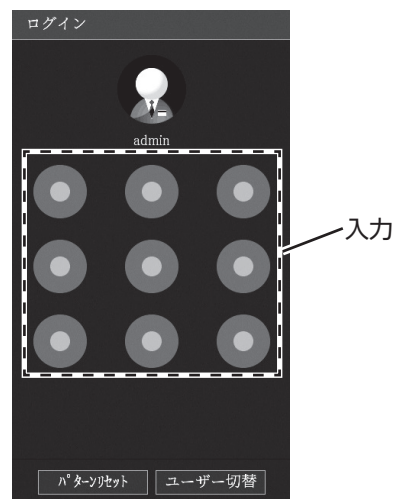
解除パターンを設定していない場合

- ②ユーザー名、パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

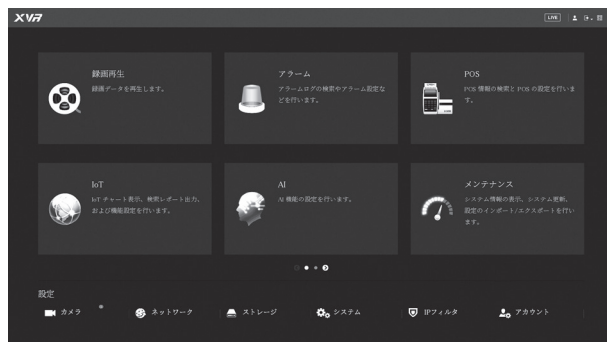


解除パターンを設定している場合

- ②パターンを入力します。

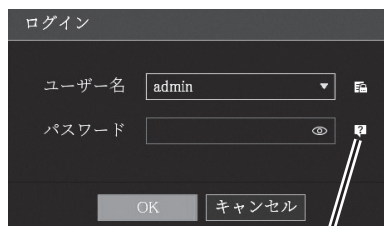


- ③ログインできた場合、メインメニュー画面が表示されます。



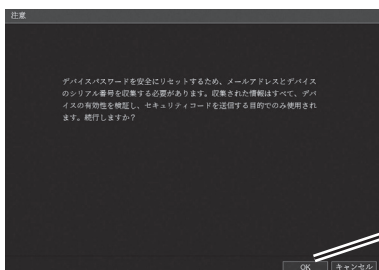
パスワード復旧

- ①パスワードを忘れた場合、ログイン画面でパスワード横の **?** をクリックします。



クリック

- ②「OK」をクリックします。



クリック

復旧方法は、メールで解除コードを取得、またはセキュリティ質問に回答をするの2通りの方法があります。

メールの場合

- ③リセットタイプより「メール」を選択し、画面のQRコードを読み取り、文字列を取得します。
- ④文字列を画面上で指定されているアドレスに、メールで送信します。
- ⑤設定しているアドレスにセキュリティコードがメールされますから(約30分以内)、コードを入力し、「次へ」をクリックします。



⑤入力

⑤クリック

セキュリティ質問の場合

- ③リセットタイプより「セキュリティ質問」を選択し、質問1～3の答えを入力し、「次へ」をクリックします。
- ⑥へ



クリック

- ⑥新しいパスワード欄と確認パスワード欄に新しく設定するパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

●操作成功が表示されれば、設定完了です。



クリック

USBデバイス接続

USB端子にUSBデバイスを接続すると下記画面が表示されます。
録画データ、ログデータのバックアップを行うことができます。



ファイルバックアップ

録画データのバックアップを行います。
詳細はバックアップ(p.54)をご覧ください。

ログバックアップ

本機で発生したログのバックアップを行います。
詳細はログ(p.49)をご覧ください。

バックアップ設定

本機の設定内容を書出し・読み込みを行います。
詳細はインポート／エクスポート(p.52)をご覧ください。

アップデート

本機のアップデートを行います。
詳細はアップデート(p.53)をご覧ください。

ご注意

- USB端子に接続するUSBデバイスは、全てのメーカー、形式の作動を保証するものではありません。
- バックアップするとき、USBデバイスのフォルダー「System Volume Information」は選択しないでください。

本機を初めて起動したとき、および工場出荷の状態に戻したときは、初期設定を行うウィザード画面が表示されます。ウィザードに従って初期設定を完了してください。

① 本機の地域設定や時刻設定を行い、「次へ」をクリックします。

地域	日本		
言語	日本語		
ビデオ規格	NTSC		
時間帯	(UTC+09:00)大阪、札幌、東京		
システム時刻	2024 -04 -01	16 : 18 : 31	
夏時間	☐		
タイプ	☒ 日付 ☐ 週		
開始時刻	1月	1	00 : 00
終了時刻	1月	2	00 : 00
オンラインアップグレード	☐		

地域

「日本」を選択します。

言語

使用する言語を選択します。

ビデオ規格

「NTSC」を使用してください。

時間帯

「大阪、札幌、東京」を選択します。

システム時刻

現在の日付、時刻を設定します。

夏時間

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

タイプ

夏時間を有効にした場合、時刻指定を日付単位、または週単位で設定するか選択します。

開始時刻、終了時刻

夏時間を有効にした場合、開始時刻・終了時刻を選択します。

オンラインアップグレード

本機能は使用しません。

スライドスイッチは無効(灰色)のまま使用してください。

②パスワードを設定し、「次へ」をクリックします。



The screenshot shows a dark-themed setup screen with the following elements:

- ユーザー名** (User Name): A dropdown menu currently showing "admin".
- パスワード** (Password): An empty text input field.
- パスワード確認** (Password Confirmation): An empty text input field.
- パスワードアシスト** (Password Assist): An empty text input field.
- 解除パターン** (Disable Pattern): A toggle switch that is currently in the "off" (gray) position.

ユーザー名

adminと表示されます。

パスワード

8文字～32文字以内で数字、アルファベット大文字、小文字、記号から少なくとも2種類以上の構成で設定してください。

パスワード確認

確認のため再度、新しく設定したパスワードを入力します。

パスワードアシスト

パスワードのヒントを入力します。ログイン画面で確認することができます。

解除パターン

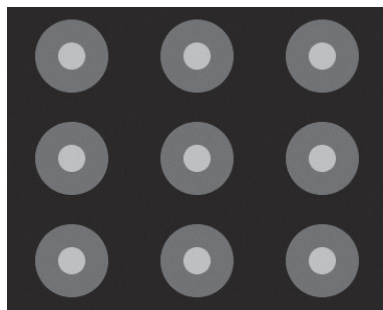
スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

ご注意

- 設定したパスワードは第三者に知られないよう管理してください。
- パスワードを忘れて復旧できない場合、修理対応となります。

③解除パターンを設定します。(②で解除パターンを有効にした場合、設定します)

- 始点場所からクリックしたままパターンを入力します。



ご注意

設定した解除パターンは第三者に知られないよう管理してください。

- ④Emailアドレス、セキュリティ質問を設定し、「次へ」をクリックします。
Emailアドレス、セキュリティ質問のどちらかを必ず設定してください。
パスワードを忘れた場合に復旧することができなくなります。

Emailアドレス	
セキュリティ質問	
質問1	あなたの好きな子供の本は何ですか？
答え	
質問2	あなたの最初の上司の名前は何かですか？
答え	
質問3	あなたの好きな果物の名前は何かですか？
答え	

Emailアドレス

Emailアドレスを設定する場合、スライドスイッチをクリックして、有効(青色)を選択し、Emailアドレスを入力します。

セキュリティ質問、答え

セキュリティ質問を設定する場合、スライドスイッチをクリックして、有効(青色)を選択し、質問1～3の各項目を選択し、「答え」を入力します。

ご注意

- Emailアドレス、セキュリティ質問を設定した場合、かならず控えを作成して、忘れないようにしてください。
- パスワードの復旧ができない場合、修理対応となります。

- ⑤本機をインターネットに接続する場合、ネットワークの設定を行い、「次へ」をクリックします。

イーサネットカード	IPアドレス	ネットワ...	NICメンバー	修正	解放
NIC1	192.168.1.108	シングル NIC	1		

IPアドレス: 192.168.1.108 デフォルトゲートウェイ: 192.168.1.1 MTU: 1500

MACアドレス: サブ ネットマスク: 255.255.255.0 モード: 静的

IPバージョン ☐ DHCP

優先DNS

代替DNS

初期設定カード

IPバージョン

IPv4を選択します。
IPv6は本機では使用しません。

優先DNS

プライマリDNSを設定します。

代替DNS

セカンダリDNSを設定します。

初期設定カード

「NIC1」固定です。

IPアドレスを手動で設定する場合

修正の列にある  をクリックすると、編集画面に移動します。

DHCPのスライドスイッチをクリックして、無効にすると編集可能になります。

イーサネットカード NIC1

ネットワークモード ☒ シングル NIC

IPバージョン IPv4 ☐ DHCP

MACアドレス 01:b1:c2:c8:e8:16

IPアドレス 192 . 168 . 1 . 108 テスト

サブネットマスク 255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ 192 . 168 . 1 . 1

MTU 1500

IPバージョン

IPv4を選択します。

IPv6は本機では使用しません。

MACアドレス

本機のMACアドレスを表示します。

IPアドレス

IPアドレスを設定します。

テストをクリックすると、使用可能なIPアドレスが調べることができます。

サブネットマスク

サブネットマスクを設定します。

デフォルトゲートウェイ

デフォルトゲートウェイを設定します。

MTU

「1500」固定です。

- ⑥ P2Pで遠隔視聴を行う場合、スライドスイッチをクリックし、有効にして、「次へ」をクリックします。

● 遠隔視聴の設定は「P2P」(p.73)をご覧ください。

有効 ☒

レコーダーの遠隔監視を行う場合は有効にします。

P2Pを有効にすると、インターネット接続の際に、レコーダーのIPアドレス・MACアドレス・デバイス名・シリアル番号等の情報を収集します。収集した情報は遠隔監視の目的でのみ使用されます。

P2Pを使用しない場合は、チェックボックスをオフにしてください。

状態 オフライン

P2Pクライアント 機器SN

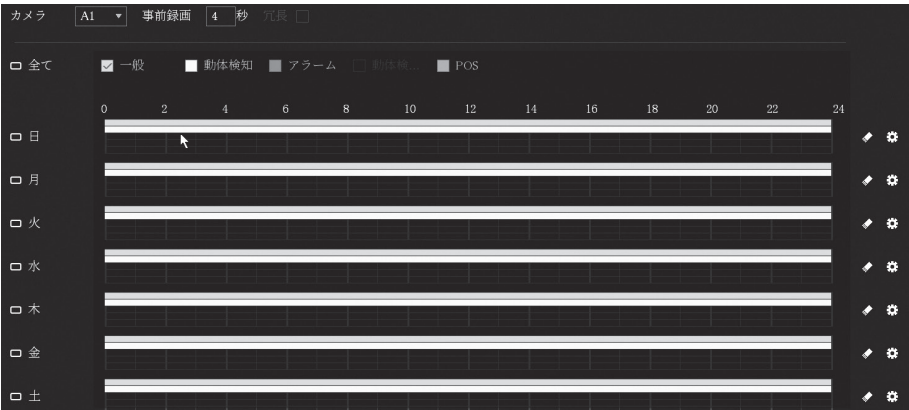
 

スキャンして DL 9E0DD

ご注意

P2Pの使用にはインターネットを使用できる環境が必要となります。

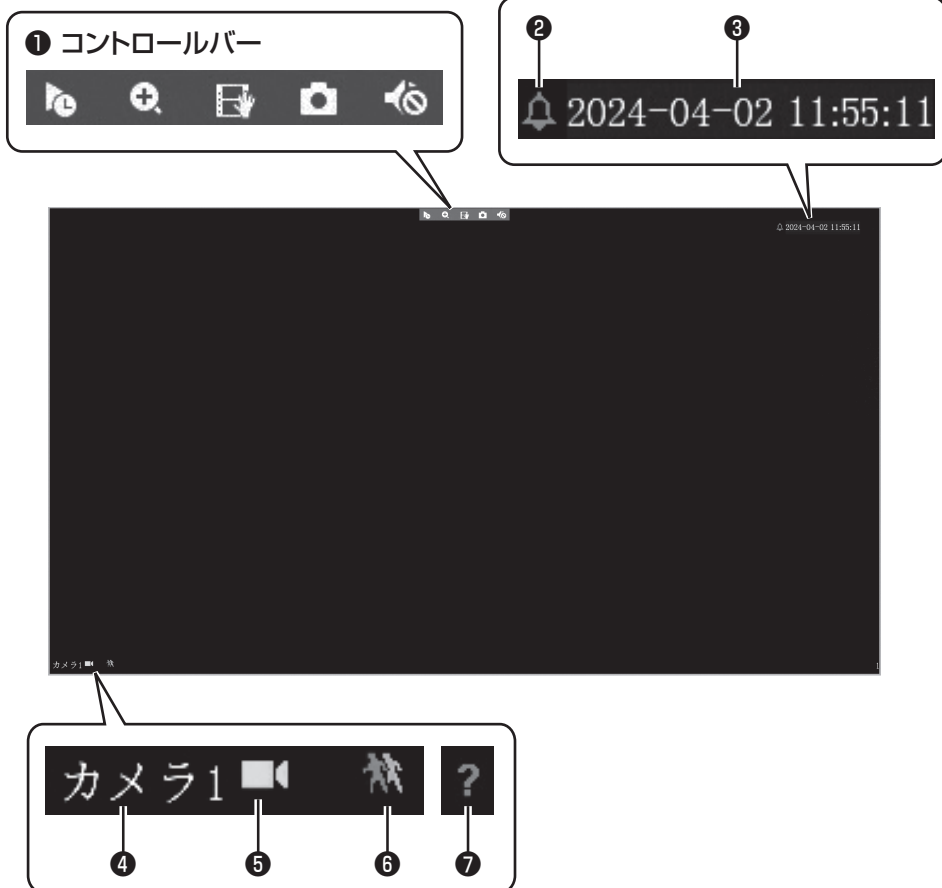
- ⑦録画設定を行い、「次へ」をクリックします。
初期値は24時間毎日録画する設定となっています。
●録画設定は「スケジュール」(p.75)をご覧ください。



- ⑧内蔵のHDDの情報が表示されていることを確認し、「終了」をクリックします。
●初期設定が完了し、「ライブ画面」(p.24)へ移動します。

1*	デバイス名	物理的な位置	プロパティ	ヘルスステータス	残容量/全容量
全て	-	-	-	-	1.77 TB/1.79 TB
1*	sda	ホスト_1	読込/書込 ▼	正常	1.77 TB/1.79 TB

カメラのライブ映像を画面に表示します
画面にはチャンネル名や時刻などが表示されます。



① コントロールバー

ライブ画面で各チャンネルの画面上部にマウスカーソルを合わせると、コントロールバーが表示されます。
各アイコンの説明は「コントロールバー」(p.25)をご覧ください。

② ブザー音

ブザー音のON/OFFを表示します。
アイコンをクリックすることでON/OFFを切換えることができます。

③ 日付時刻

現在の日付時刻を表示します。

④ チャンネル名

設定したチャンネル名を表示します。

⑤ 録画中アイコン

録画をしているときに表示します。

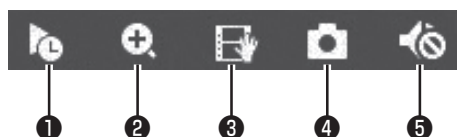
⑥ 動体検知アイコン

動体検知したときに表示します。

⑦ ビデオロスアイコン

ビデオロスが発生したときに表示します。

コントロールバー



① リアルタイム再生

クリックすると、最新の録画映像の再生を行います。
再生する時間は、5～60分前までの録画映像となります。
●時間の設定は「基本設定」(p.81)をご覧ください。

② デジタルズーム

クリックして、拡大表示を行いたい範囲をドラッグすると、拡大表示できます。
右クリックすると、拡大表示が解除できます。

《アイコン状態》



: ズーム無効



: ズーム有効

③ インスタントレコード

- クリックすると、接続したUSBデバイスに録画データの保存を開始します。
もう一度クリックすると、録画を停止します。
- 録画中はUSBデバイスを抜かないでください。
(USBデバイスが未接続の場合、保存できません)

《アイコン状態》



: USBデバイスへの録画停止
(アイコン: 白色)



: USBデバイスへ録画中
(アイコン: 青色)

ご注意

カーソルとアイコンが重なっていると、アイコンが青色になります。
録画状態を確認するときは、カーソルとアイコンが重ならないようにしてください。

④ 手動スナップ

- クリックすると、接続したUSBデバイスに表示画面の静止画を保存します。
保存する枚数は1～5枚です。
枚数の設定は、「スナップショット」(p.63)をご覧ください。
- 録画中はUSBデバイスを抜かないでください。
(USBデバイスが未接続の場合、保存できません)

《アイコン状態》



: USBデバイスへの
静止画保存未実施



: USBデバイスへの
静止画保存中

⑤ ミュート

クリックをすると、ミュートのON/OFFを切り替えることができます。
1画面表示中のみ有効となります。

《アイコン状態》



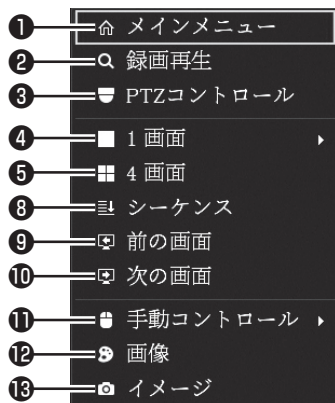
: ミュートON



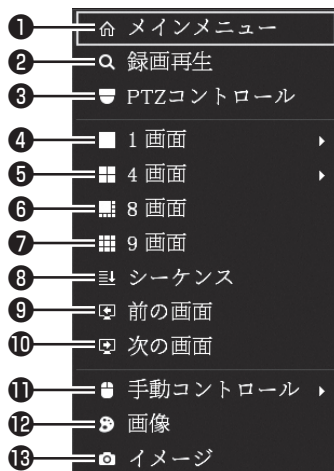
: ミュートOFF

ライブ画面(p.24)で右クリックすると、「クイックメニュー」が表示されます。

OC2-R4P(2TB)



OC2-R8P(2TB)



① メインメニュー

メニュー画面(p.37)を表示します。

② 録画再生(p.31)

録画再生画面を表示します。

③ PTZコントロール(p.27)

PTZコントロールを表示し、カメラのメニューやズームなどの操作ができます。

④ 1画面

画面表示するチャンネルを選択し、そのチャンネルの映像を1画面表示します。

⑤ 4画面

4つのチャンネルの映像を画面分割して4画面表示します。

OC2-R8P(2TB)の場合、8つのチャンネルのうち、4つのチャンネルの映像を表示し、切り換えが可能です。

⑥ 8画面 [OC2-R8P(2TB)]

8つのチャンネルの内、1つのチャンネルの映像を大きく画面で表示し、残りの7つのチャンネルの映像を画面分割して7画面表示します。

⑦ 9画面 [OC2-R8P(2TB)]

8つのチャンネルの映像と各チャンネルのBPS情報を表示する画面を画面分割して9画面表示します

⑧ シーケンス(p.28)

4画面、8画面、9画面表示をするとき、チャンネルの配置を任意に設定できます。

⑨ 前の画面

1画面表示において、前のチャンネルに切り換えます。

⑩ 次の画面

1画面表示において、次のチャンネルに切り換えます。

⑪ 手動コントロール

録画モード：録画やスナップショットの設定を行います。
詳細は「録画モード」(p.77)をご確認ください。

警告モード：本機能は使用しません。

⑫ 画像(p.29)

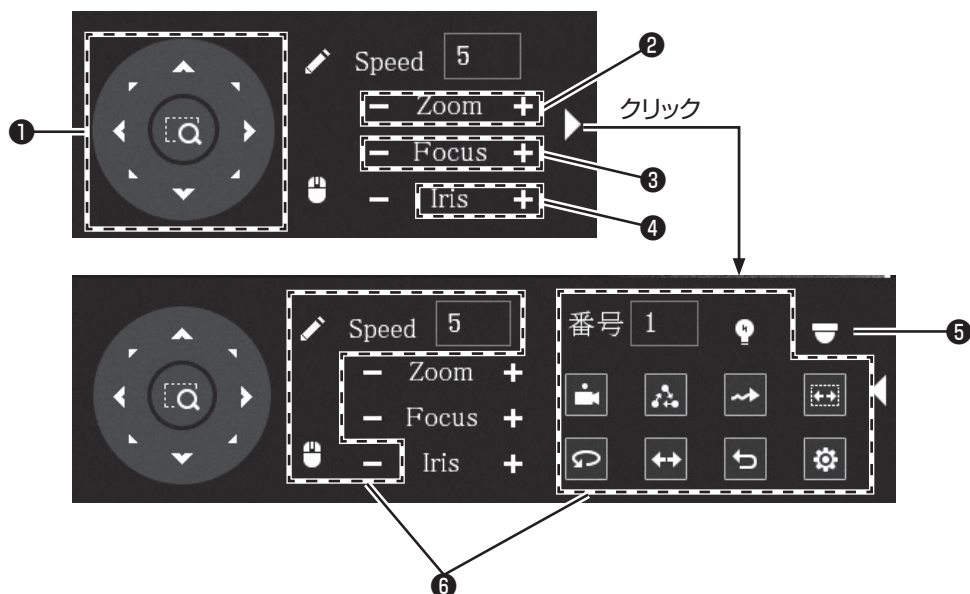
本機で映像の彩度や輝度などの設定を行います。

⑬ イメージ(p.30)

カメラ本体で映像の彩度や輝度などの設定を行います。

PTZコントロール

PTZコントローラを表示し、カメラのメニューやズームなどの操作ができます。



① カーソル

カメラの制御画面※を開いて、カーソルを上下左右移動させるときに使用します。
虫眼鏡マーク、斜めの矢印は使用しません。

② Zoom

ズームイン／アウトの調整をします。

③ Focus

手動でピントの調整をします。

④ Iris

+をクリックすると、カメラの制御画面※が開きます。

⑤ UTCメニュー

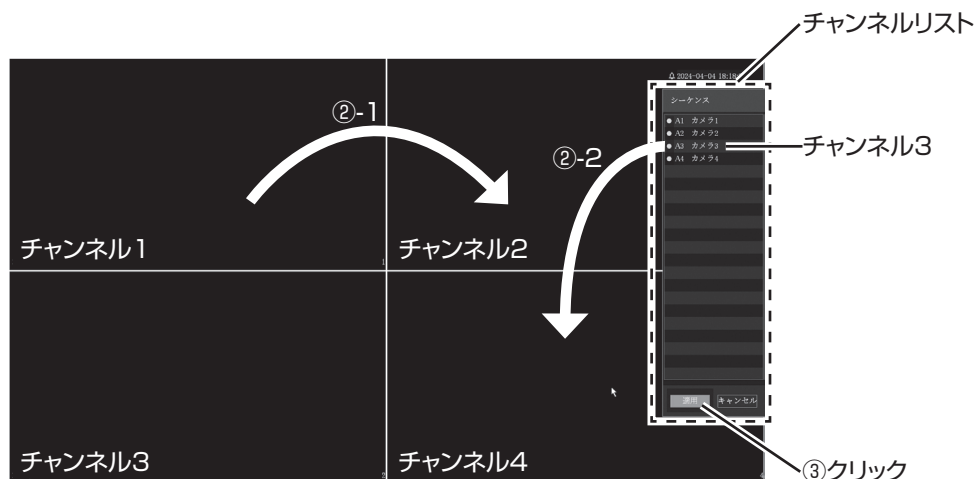
Irisの+をクリックした場合と、同様にカメラの制御画面※が開きます。

⑥ 本機能は使用しません。

※カメラの制御画面の詳細は、各カメラの取扱説明書をご覧ください。

シーケンス

4画面、8画面、9画面表示をするとき、チャンネルの配置を任意に設定できます。



OC2-R4P(2TB)での例

- ①「クイックメニュー」(p.26)で「シーケンス」をクリックすると、画面右側にチャンネルリストが表示されます。
- ②各チャンネルの表示画面を任意の位置に移動すると、配置が変わります。
 - 上図の②-1の場合、チャンネル1とチャンネル2の配置が変わります。
 - また、チャンネルリストからチャンネルを選択して任意の箇所にドラッグするとチャンネルの表示を入換えることができます。
 - 上図の②-2の場合、チャンネル3とチャンネル4の配置が変わります。
- ③「適用」をクリックすると、設定が完了します。

画像

調整を行いたいチャンネルで右クリックし、本機の映像の彩度や輝度などの設定を行います。

画像

期間

期間 1

有効時間

00 : 00 - 24 : 00

彩度

+

50

輝度

+

50

コントラスト

+

50

色合い

+

50

シャープネス

+

1

カラーモード

標準

EQ

+

1

ビデオポジション

+

16

カスタム

初期設定

適用

戻る

期間

期間1、期間2のそれぞれで彩度、輝度などを選択できます。

有効時間

期間1、期間2の時間帯を設定できます。
スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

彩度

彩度を調整します。

輝度

輝度を調整します。

コントラスト

コントラストを調整します。

色合い

色合いを調整します。

シャープネス

シャープネスを調整します。

カラーモード

カラーモードを選択します。

EQ

彩度・輝度・コントラストを一括で調整します。

: EQを初期値にします。
 : クリックするととなり、EQの値がロックされます。

ビデオポジション

左右の画面ポジションを調整します。

「カスタム」ボタン : 彩度、輝度、コントラスト、色合い、シャープネスの設定値をカスタムして、保存することができます。
カラーモードで選択することが可能となります。

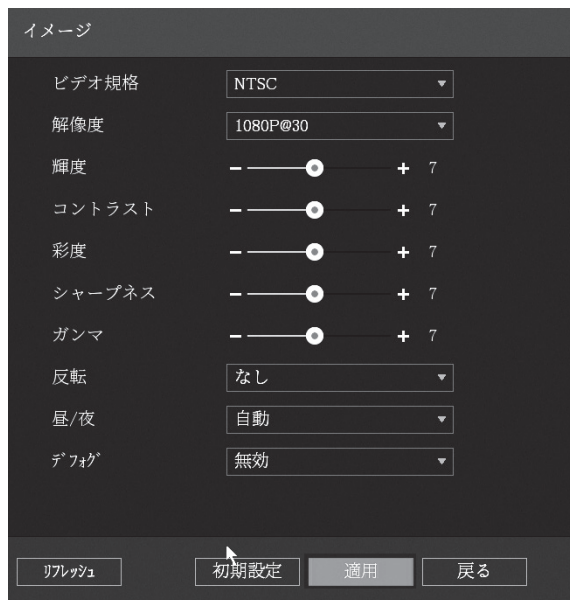
「初期設定」ボタン : 各設定の初期設定状態を示します。

「適用」ボタン : クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン : クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

イメージ

調整を行いたいチャンネルで右クリックし、カメラ本体で彩度や輝度などの設定を行います。



ビデオ規格

「NTSC」を使用してください。

解像度

解像度を選択します。

輝度

輝度を調整します。

コントラスト

コントラストを調整します。

彩度

彩度を調整します。

シャープネス

シャープネスを調整します。

ガンマ

ガンマを調整します。

反転

映像表示を上下左右して表示します。

昼/夜

カラー / 白黒(B/W)/自動を選択します。

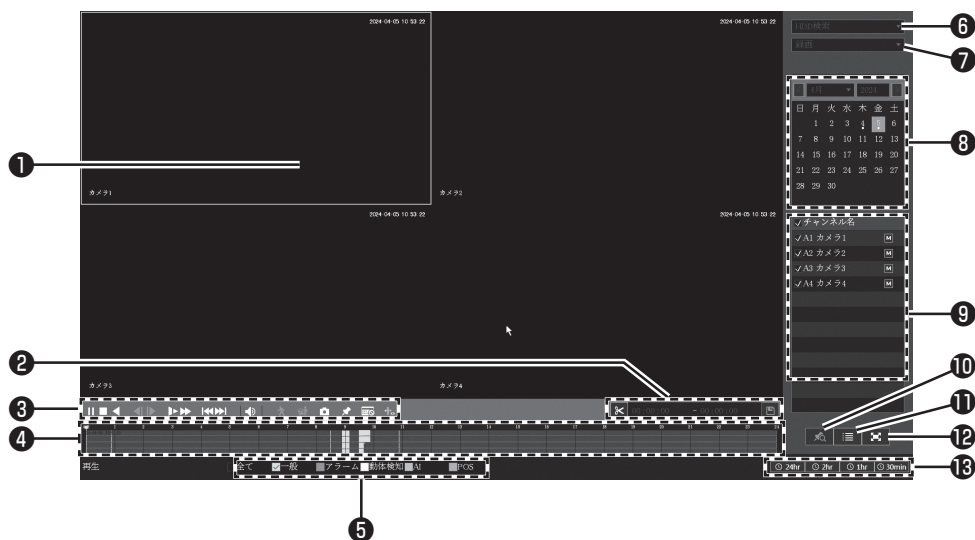
デフォグ

OC2シリーズのカメラでは本機能は使用しません。

- 「リフレッシュ」ボタン：カメラ側から初期化することができます。
(初期設定をクリックしてもカメラとの同期がとれない場合などに使用します)
- 「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。
- 「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
- 「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

録画データの再生やバックアップを行います。

「クイックメニュー」(p.26)または「メニュー画面」(p.37)で「録画再生」をクリックして、録画再生画面を表示します。



① 再生画面

再生する録画映像、または静止画画像が表示されます。
4チャンネル(OC2-R4P(2TB))、8チャンネル(OC2-R8P(2TB))の同時再生にも対応しています。

② ビデオクリップ(p.34)

録画映像の任意の箇所を切り取り、バックアップすることができます。

③ 再生コントロールバー (p.33)

録画データの再生操作を行います。

④ タイムバー (p.33)

録画データ選択で選択した録画種類に応じて、録画データがある時間に色がつきます。
最大で4本のタイムバーが表示されます。

⑤ 録画データ選択

録画データの種類(一般/アラーム/動体検知)を選択します。
AI、POSは使用しません。

⑥ 記録媒体

録画データの保存先(HDDまたはUSBデバイス)を選択します。

⑦ 検索タイプ

記録媒体より検索する録画データを録画(映像)、画像、スプライス再生から選択します。
画像を選択すると、画像の切替時間が設定できます。
スプライス再生を選択すると、録画映像を検索します。
再生すると時間帯を4分割して、同時に表示することができます。
(録画映像の長さにより、4分割されない場合もあります)

⑧ カレンダー

録画データを再生する日付を選択します。
録画データがある日付の下に「・」が付きます。

⑨ チャンネル選択

再生するチャンネルを選択します。
チャンネル名横のアイコンを押すと、再生するストリームをメインストリーム(M)、またはサブストリーム(S)と切換えることができます。

⑩ マークリスト表示(p.35)

マーキングしたリストを表示し、録画映像を再生することができます。

⑪ ファイルリスト表示(p.36)

録画データのファイルリストを表示し、バックアップすることができます。

⑫ 全画面表示

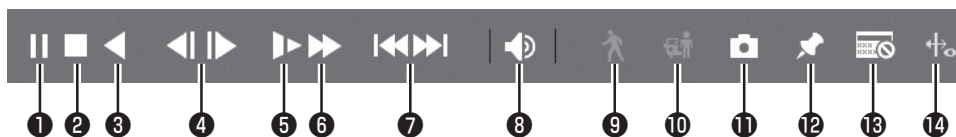
全画面表示モードに移行します。
右クリックすると、元の画面表示に戻ります。

⑬ タイムサーバー単位

タイムバーの時間単位を24時間/2時間/1時間/30分と変更できます。

再生コントロールバー

録画データの再生操作を行います。



① 再生/一時停止

録画の再生と一時停止を切換えます。

② 停止

再生を停止します。

③ 逆再生

逆再生します。

④ コマ送り

一時停止中にフレームごとに前フレーム、または次フレームにコマ送りします。

⑤ スロー再生

再生中にクリックすると1/2、1/4、1/8、1/16倍と低速再生をすることができます。逆再生中に操作する事も可能です。

⑥ 早送り

再生中にクリックすると、2、4、8、16倍、1分、3分、5分、15分、30分と早送りすることができます。逆再生中に操作する事も可能です。

⑦ 日付送り

録画データを前日、翌日と一日単位で進める事ができます。

⑧ 音量

音量の調整をします。

⑨ 本機能は使用しません。

⑩ 本機能は使用しません。

⑪ スナップショット

接続しているUSBデバイスに選択しているチャンネルのスナップショットを保存する事ができます。

⑫ マーク追加

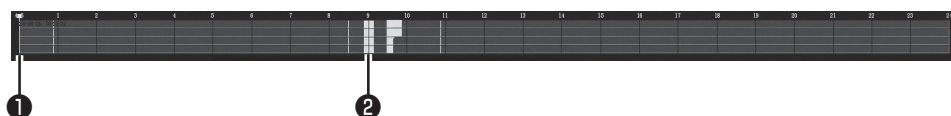
録画映像再生中に、クリックすると名前を入力し、マーキングができます。マーキングすると、マークリスト表示から検索することができます。詳細は「マークリスト表示」(p.35)をご覧ください。

⑬ 本機能は使用しません。

⑭ 本機能は使用しません。

タイムバー

録画データ選択で選択した録画種類に応じて、録画データがある時間に色がつきます。



① 再生バー

再生する時間を示しています。クリックして、再生したい時間に移動させることもできます。

② 録画データ

一般録画されたデータは緑色、アラーム検知で録画されたデータは赤色、動体検知で録画されたデータは黄色で表示します。

ビデオクリップ

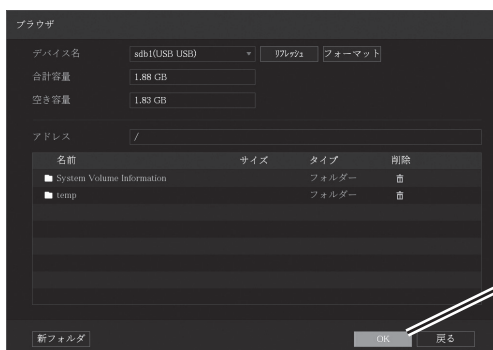
録画映像の任意の箇所を切り取り、バックアップすることができます。



- ① タイムバー上からクリックをし、録画映像を再生します。
- ②  をクリックすると再生中の時間が開始時間に登録されます。
- ③ タイムバー上から終了したい時間をクリックし、再度  をクリックすると終了時間が登録されます。
- ④  が白くなり、クリックするとバックアップ確認画面が表示されます。
- ⑤ USBデバイスが挿入されている事を確認し、「バックアップ」をクリックします。
●USBデバイスが正常に認識されている場合、ブラウザー画面へ移動します。



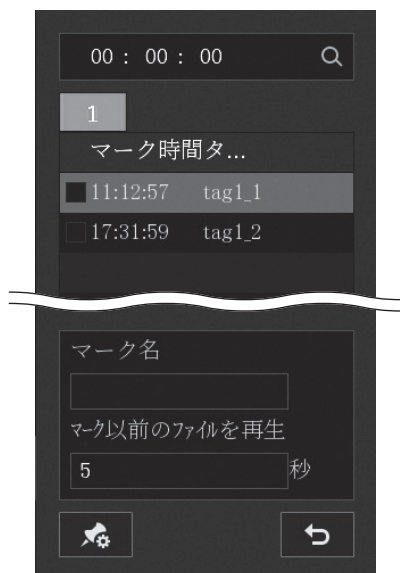
- ⑥ バックアップ容量と空き容量を確認し、「OK」をクリックします。



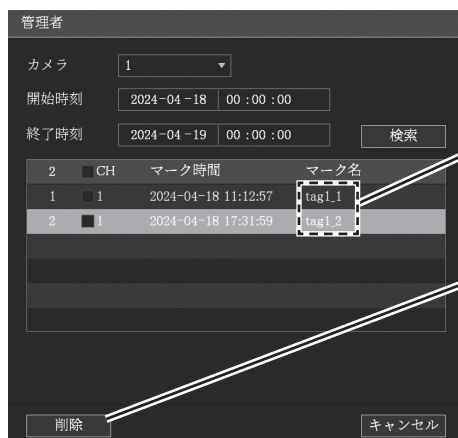
マークリスト表示

マーキングしたリストを表示し、録画映像を再生することができます。

- ①日付、チャンネルを1つ選択して、マークリストのアイコンをクリックすると、マークリストが表示されます。
- ②リストの各マーキングをダブルクリックすることで、録画映像を再生できます。
「マーク以前のファイル再生」に秒数を入力することで、再生開始時間をさかのぼって、再生することができます。



マークリスト表示時にマークリストのアイコンをクリックすると、マーク名の変更やマーキングを削除できます。



マーク名変更

ダブルクリックして、編集画面を開きます。

削除

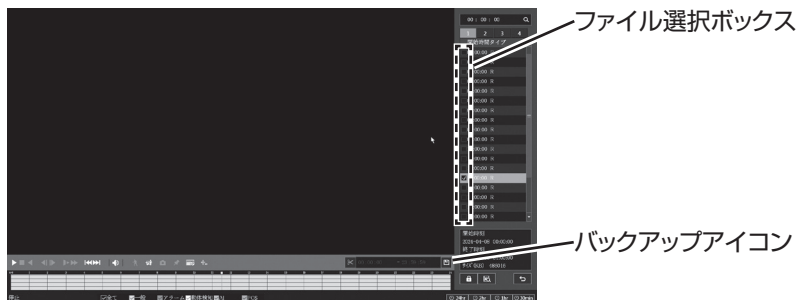
チェックを入れて、「削除」をクリックします。

ファイルリスト表示

録画データのファイルリストを表示し、バックアップすることができます。

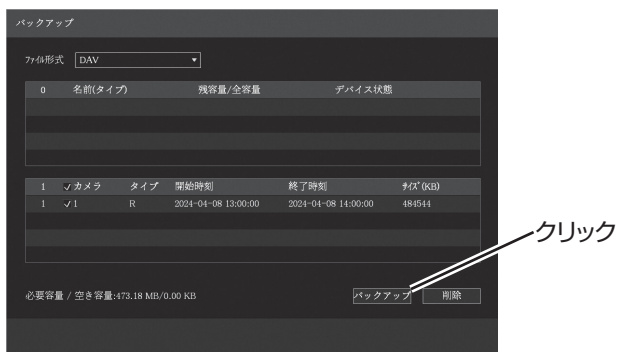
- ①バックアップする時間帯のファイル選択ボックスにチェックを入れ、バックアップアイコンをクリックします。

●バックアップ確認画面が表示されます。

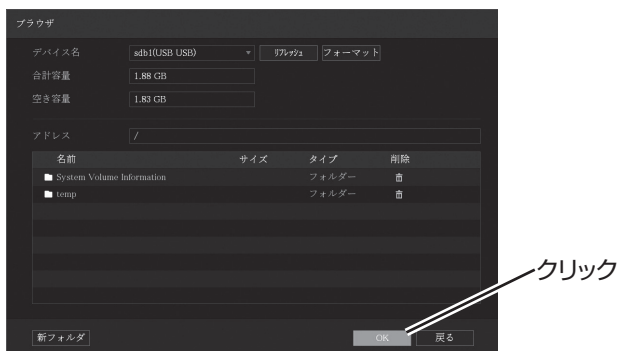


- ②USBデバイスが挿入されている事を確認し、「バックアップ」をクリックします。

●USBデバイスが正常に認識されている場合、ブラウザー画面へ移動します。



- ③バックアップ容量と空き容量を確認し、「OK」をクリックします。



「クイックメニュー」(p.26)で「メインメニュー」をクリックするとメインメニュー、設定メニュー、ツールバーが表示されます。

<>カーソルでメインメニューの切り替えができます。



<> (カーソル)
で切り換え

設定メニュー (p.39)

メインメニュー【2/2】(p.38)



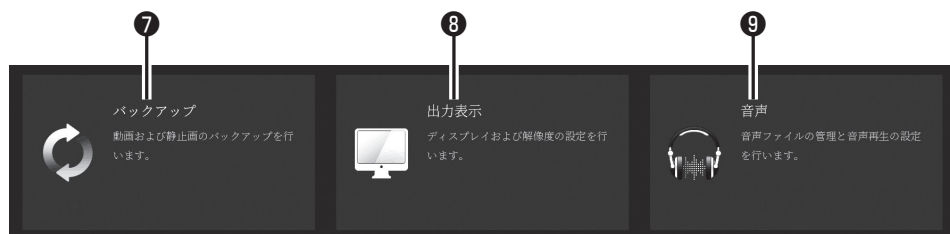
メインメニュー

設定する項目をクリックすると、設定画面が表示されます。

メインメニュー【1/2】



メインメニュー【2/2】



① 録画再生(p.31)

録画データの再生やバックアップを行います。

② アラーム(p.41)

アラームの確認や設定を行います。

③ POS

本機能は使用しません。

④ IoT

本機能は使用しません。

⑤ AI

本機能は使用しません。

⑥ メンテナンス(p.49)

本機のログやシステム情報の確認を行います。

⑦ バックアップ(p.54)

録画データのバックアップを行います。

⑧ 出力表示(p.55)

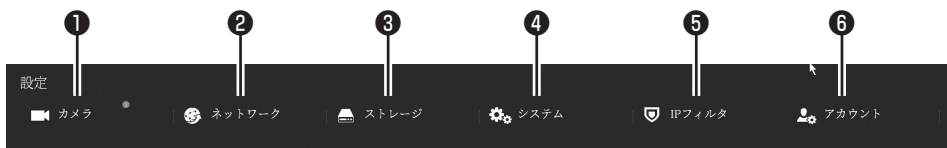
出力表示の設定を行います。

⑨ 音声(p.58)

音声出力の設定を行います。

設定メニュー

設定する項目をクリックすると、設定画面が表示されます。



① カメラ(p.60)

カメラの設定を行います。

② ネットワーク(p.68)

ネットワークの設定を行います。

③ ストレージ(p.74)

ストレージの設定を行います。

④ システム(p.81)

システムの設定を行います。

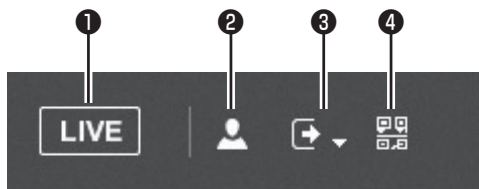
⑤ IPフィルタ(p.84)

ネットワークのセキュリティの設定を行います。

⑥ アカウント(p.87)

アカウントの設定を行います。

ツールバー



① ライブ画面(p.24)に戻ります。

② ユーザー名が表示されます。

③ ログアウト／再起動／シャットダウンを選択します。
マウスカーソルを合わせ、選択したい項目をクリックします。

④ QRコードを表示します。
詳細は「P2P」(p.73)をご覧ください。

メインメニュー (p.38)の項目一覧です。

録画再生

- 再生コントロールバー (p.33)
- タイムバー (p.33)
- ビデオクリップ(p.34)
- マークリスト表示(p.35)
- ファイルリスト表示(p.36)

アラーム

- アラーム情報(p.41)
- アラーム(p.41)
- アラーム入力ポート(p.41)
- アラーム出力ポート(p.41)

ビデオ検出

- 動体検知(p.42)
- ビデオロス(p.44)
- マスキング(p.45)

異常処理

- HDD(p.46)
- ネットワーク(p.47)

解除 (p.48)

メンテナンス

ログ(p.49)

システム情報

- バージョン(p.49)
- HDD情報(p.50)
- 録画情報(p.50)
- BPS(p.50)
- チャンネル情報(p.50)

ネット情報

- オンラインユーザー (p.51)
- ロード(p.51)
- テスト(p.51)

管理者

- メンテナンス(p.52)
- インポート／エクスポート(p.52)
- 初期設定(p.53)
- アップデート(p.53)
- インテリジェンス診断(p.53)

バックアップ

- バックアップ(p.54)

出力表示

- 出力表示(p.55)
- ツアー (p.56)
- シングルストリーム設定(p.57)

音声

- ファイル管理(p.58)
- 自動出力(p.58)

アラームの確認や設定を行います。

アラーム情報

作動したアラームのログを表示します。

タイプ

全て

期間

今日

2024-04-09 00:00:00

-

2024-04-09 23:59:59

5	ログ時間	イベント	再生
1	2024-04-09 16:54:56	<ネット切断: 1>	⏮
2	2024-04-09 16:55:33	<ビデオロス: 1>	⏮
3	2024-04-09 16:55:34	<ビデオロス: 2>	⏮
4	2024-04-09 16:55:42	<ビデオロス: 4>	⏮
5	2024-04-09 16:55:45	<ビデオロス: 3>	⏮

タイプ

表示するアラームの種類を、全て/動体検知/ビデオロス/マスキング/異常から選択します。
(アラームボックス、同軸アラーム、IPCExtは使用しません)

期間

ログを検索する日時を入力します。

- 「検索」ボタン
- : 設定した内容でログの検索を行います。
- 「Go To」ボタン
- : ページ番号を入力し、ボタンをクリックすると、指定のページに移動します。
- 「バックアップ」ボタン
- : ログ情報をUSBデバイスにバックアップします。
フォルダー「Log_年月日時分秒」内にcsvファイルが保存されます。
(年月日時分秒は14文字)
- 「詳細」ボタン
- : 選択したログの詳細を確認できます。

アラーム

作動中のアラームを表示します。

アラームタイプ		アラーム
ビデオロス	1 2 3 4	
ネット切断	オフライン 1	

アラーム入力ポート

本機能は使用しません。

アラーム出力ポート

本機能は使用しません。

ビデオ検出

動体検知

カメラごとに動体検知したときの作動を設定します。

カメラ: 1 (設定)

有効: ☒ PIRアラーム: ☒

スケジュール: (設定) アンチディザ: 5 秒

アラーム出力ポート: (設定) 事後アラーム: 10 秒

☐ メッセージ表示 ☐ 電子メールを送信 ☐ アップロード

☒ チャンネル: (設定) 事後録画: 10 秒

☐ PTZリンク: (設定) ☐ 画像保存: (設定)

☐ ツアー: (設定)

☐ ブザー: (ログ)

☐ アラーム音: なし

☐ 白色光: (設定)

カメラ

設定するカメラを選択します。

地域

検知エリアを設定します。
詳細は「検知エリアの設定」(p.43)をご覧ください。

有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

PIRアラーム

本機能は使用しません。

スケジュール

作動スケジュールを設定します。

アンチディザ

動体検知してから検知終了までの時間を設定します。

アラーム出力ポート

本機能は使用しません。

事後アラーム

本機能は使用しません。

メッセージ表示

動体検知すると画面上にメッセージが表示されます。

電子メールを送信

動体検知するとメールを送信します。
事前にメール設定が必要です。

アップロード

本機能は使用しません。

チャンネル

動体検知をトリガーに録画するチャンネルを選択します。

事後録画

動体検知が終了してから録画終了するまでの時間を設定します。

PTZリンク

本機能は使用しません。

ツアー

本機能は使用しません。

画像保存

動体検知をトリガーに画像保存するチャンネルを選択します。

ブザー

ブザーのON/OFFを設定します。
ONのとき、レコーダーからブザー音が鳴ります。

ログ

ログを記録します。

アラーム音

レコーダーに登録したアラーム音を再生します。

白色光

本機能は使用しません。

- 「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。
- 「コピー先」ボタン：各設定の内容（録画チャンネル、画像保存チャンネルを除く）を、別のカメラに反映することができます。
反映を完了する場合、「適用」ボタンをクリックします。
- 「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
- 「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

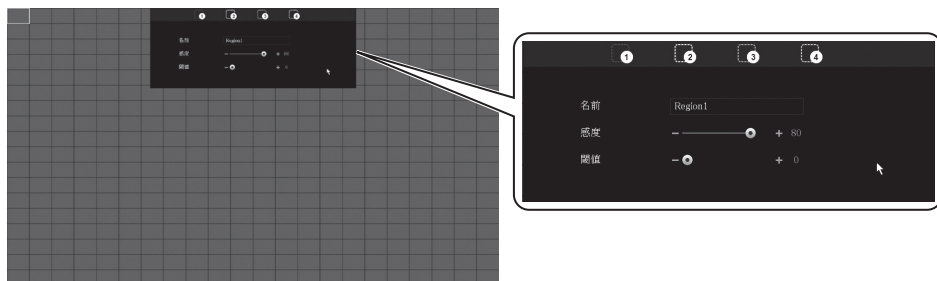
検知エリアの設定

色のついた四角が検知エリアです。
クリックまたはドラッグで、非検知エリアにすることができます。
再び選択すると指定できます。



画面中央、上部にマウスカーソルを移動すると、ウインドウ(下図)が表示されます。
動体検知の感度が設定できます。
数値が高いほど少ない動きでも検知します。
また、検知エリアの感度を4種類作成することができます。

●「閾値」は使用しません。



ビデオロス

カメラごとにカメラとの接続が切れたときの作動を設定します。

カメラ

設定するカメラを選択します。

有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

スケジュール

作動スケジュールを設定します。

CAMアンチディザ

ビデオロスと判断するまでの時間(カメラと接続が切れている時間)を設定します。
0秒の場合、接続が切れたことを認識したら、すぐにビデオロスと判断します。

アラーム出力ポート

本機能は使用しません。

事後アラーム

本機能は使用しません。

メッセージ表示

ビデオロスを検知すると、画面上にメッセージが表示されます。

電子メールを送信

ビデオロスを検知すると、メールを送信します。
事前にメール設定が必要です。

アップロード

本機能は使用しません。

チャンネル

ビデオロスをトリガーに録画するチャンネルを選択します。

事後録画

ビデオロスが終了してから録画終了するまでの時間を設定します。

PTZリンク

本機能は使用しません。

ツアー

本機能は使用しません。

画像保存

ビデオロスをトリガーに画像保存するチャンネルを選択します。

ブザー

ブザーのON/OFFを設定します。
ONのとき、レコーダーからブザー音が鳴ります。

ログ

ログを記録します。

アラーム音

レコーダーに登録したアラーム音を再生します。

「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。

「コピー先」ボタン：各設定の内容(録画チャンネル、画像保存チャンネルを除く)を、別のカメラに反映することができます。
反映を完了する場合、「適用」ボタンをクリックします。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

マスキング

カメラごとにカメラレンズ部が覆われたときや、太陽光によって白飛びした場合など、映像全体にマスクがかかったと判断した時の作動を設定します。

カメラ	1	有効	☒	感度	3
スケジュール	設定	CAMアンチ...	0	秒	
アーム出力ポート	設定	事後アラーム	10	秒	
☐ メッセージ表示	☐ 電子メールを送信	☒ アップロード	事後録画	10	秒
☐ チャンネル	設定		☐ 画像保存	設定	
☐ PTZリンク	設定				
☐ ツアー	設定				
☐ ブザー	☒ ログ				
☐ アラーム音	なし				

カメラ

設定するカメラを選択します。

有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

感度

マスキングの検知感度を設定します。値が大きいくほど検知しやすくなります。

スケジュール

作動スケジュールを設定します。

CAMアンチディザ

0秒で使用してください。

アラーム出力ポート

本機能は使用しません。

事後アラーム

本機能は使用しません。

メッセージ表示

マスキングが発生すると、画面上にメッセージが表示されます。

電子メールを送信

マスキングを検知すると、メールを送信します。事前にメール設定が必要です。

アップロード

本機能は使用しません。

チャンネル

マスキングをトリガーに録画するチャンネルを選択します。

事後録画

マスキングが終了してから録画終了するまでの時間を設定します。

PTZリンク

本機能は使用しません。

ツアー

本機能は使用しません。

画像保存

マスキングをトリガーに画像保存するチャンネルを選択します。

ブザー

ブザーのON/OFFを設定します。ONのとき、レコーダーからブザー音が鳴ります。

ログ

ログを記録します。

アラーム音

レコーダーに登録したアラーム音を再生します。

- 「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。
- 「コピー先」ボタン：各設定の内容(録画チャンネル、画像保存チャンネルを除く)を、別のカメラに反映することができます。
反映を完了する場合、「適用」ボタンをクリックします。
- 「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
- 「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

異常処理

HDD

HDDの異常が発生したときの作動を設定します。

イベント種別	ディスクなし ▼		
有効	☒		
アラーム出力ポート	設定	事後アラーム	10 秒
☒ メッセージ表示	☐ 電子メールを送信	☐ アップロード	
☒ ブザー	☒ ログ		
☐ アラーム音	なし ▼		

イベント種別

ディスクなし/HDDエラー /容量低下から異常対象を設定します。
(クォータスペース低下は使用しません)

有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

アラーム出力ポート

本機能は使用しません。

事後アラーム

本機能は使用しません。

メッセージ表示

異常を検知すると、画面上にメッセージが表示されます。

電子メールを送信

異常を検知すると、メールを送信します。
事前にメール設定が必要です。

アップロード

本機能は使用しません。

ブザー

ブザーのON/OFFを設定します。
ONのとき、レコーダーからブザー音が鳴ります。

ログ

ログを記録します。

アラーム音

レコーダーに登録したアラーム音を再生します。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

ネットワーク

ネットワークに関する異常が発生したときの作動を設定します。

イベント種別	オフライン ▼		
有効	☒		
アラーム出力ポート	設定	事後アラーム	10 秒
☐ メッセージ表示	☐ 電子メールを送信		
☐ チャンネル	設定	事後録画	10 秒
☐ ブザー		☒ ログ	
☐ アラーム音	なし ▼		

イベント種別

オフライン/IP重複/MAC重複から異常対象を設定します。

有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

アラーム出力ポート

本機能は使用しません。

事後アラーム

本機能は使用しません。

メッセージ表示

異常を検知すると、画面上にメッセージが表示されます。

電子メールを送信

異常を検知すると、メールを送信します。事前にメール設定が必要です。

チャンネル

異常をトリガーに録画するチャンネルを選択します。

事後録画

異常が終了してから録画終了するまでの時間を設定します。

ブザー

ブザーのON/OFFを設定します。ONのとき、レコーダーからブザー音が鳴ります。

ログ

ログを記録します。

アラーム音

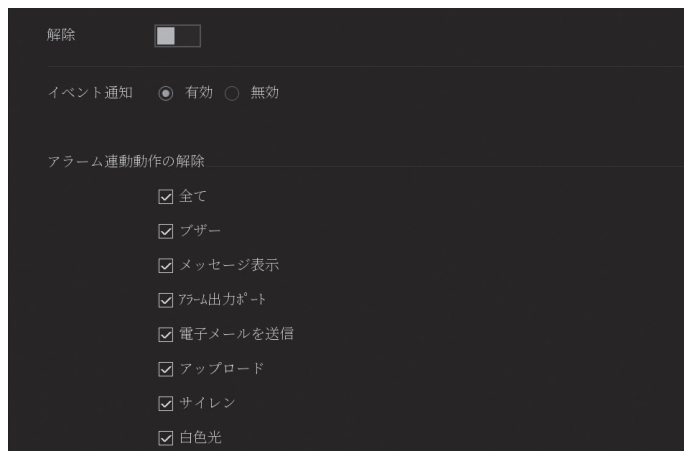
レコーダーに登録したアラーム音を再生します。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

解除

設定しているアラームの一括解除、アラームの通知(イベント通知)の作動を設定します。



解除

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

イベント通知

解除を有効にした状態で無効にすると、ビデオ検出、異常処理をアプリ「DMSS」に通知(プッシュ通知)しません。

アラーム連動動作の解除

チェックの入ったアラームが解除対象となります。
(アラーム出力ポート、アップロード、サイレン、白色光は使用しません)

- | | |
|-----------|---|
| 「初期設定」ボタン | 各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。 |
| 「適用」ボタン | クリックすると、設定が完了します。 |
| 「戻る」ボタン | クリックすると、設定を反映せずに戻ります。 |

本機のログやシステム情報の確認を行います。

ログ

本機で発生したログを表示します。

タイプ

全て

期間

カスタム

2024-04-01 00:00:00

-

2024-04-11 23:59:59

45	ログ時間	イベント
31	2024-04-09 18:58:57	設定を保存 異常処理.
32	2024-04-09 19:00:28	設定を保存 スケジュール.
33	2024-04-09 19:00:42	設定を保存 ビデオ検出.
34	2024-04-09 19:00:45	設定を保存 ビデオ検出.
35	2024-04-09 19:00:48	設定を保存 ビデオ検出.
36	2024-04-09 19:00:56	設定を保存 異常処理.
37	2024-04-09 19:03:06	設定を保存 スケジュール.

タイプ
表示するログの種類を、全て/システム/設定/ストレージ/録画/アカウント/ログ消去/再生、から選択します。

期間
ログを検索する期間を設定します。

- 「検索」ボタン : 設定した内容でログの検索を開始します。
- 「Go To」ボタン : ページ番号を入力し、ボタンをクリックすると、指定のページに移動します。
- 「バックアップ」ボタン : ログ情報をUSBデバイスにバックアップします。
フォルダー「Log_年月日時分秒」内にcsvファイルが保存されます。
(年月日時分秒は14文字)
- 「詳細」ボタン : 選択したログの詳細を確認できます。
- 「削除」ボタン : 全てのログ情報を削除します。

システム情報

本機のバージョンやHDD情報、接続しているカメラ情報などを表示します。

バージョン

バージョン情報を表示します。

デバイスモデル	
チャンネル	4
ハードウェアバージョン	V2.0
システムバージョン	V4.000.004C001.0.R
ビルド日付	2023-07-12
Webバージョン	V3.2.7.1070063
SN	9E0DD
Onvifサーブ-ポート	21.12(V3.1.0.1237257)
セキュリティ-ポート	V2.2
MCUバージョン	V4.000.0000000.3

HDD情報

HDD情報を表示します。

№	デバイス名	物理的な位置	プロパティ	合計容量	空き容量
全て	-	-	-	1.79 TB	1.79 TB
1*	ada	ホスト_1	読込/書込	1.79 TB	1.79 TB

録画情報

HDDの録画状況を表示します。

№	デバイス名	開始時刻	終了時刻
全て		2024-04-09 19:03:13	2024-04-11 16:40:08
1*	ada	2024-04-09 19:03:13	2024-04-09 19:03:44
	ada	2024-04-11 16:38:00	2024-04-11 16:40:08

BPS

各チャンネルに接続しているカメラの通信量を表示します。

カメラ	Kb/S	解像度	グラフ
1	1056	1920*1080	
2	1047	1920*1080	
3	1072	1920*1080	
4	1078	1920*1080	

チャンネル情報

各チャンネルに接続しているカメラのフォーマット情報などを表示します。
有効欄のチェックを外すと、カメラへの電源の給電を停止します。

カメラ	フォーマット	モード	有効	☒
1	1080P ●	AT	☒	
2	1080P ●	AF	☒	
3	1080P ●	AF	☒	
4	1080P ●	AT	☒	

注意

AF: PoCカメラの最大消費電力は6Wです。
AT: PoCカメラの最大消費電力は12Wです。
—: 非 PoC カメラ接続中あるいはカメラが未接続です。

注意

2 AF PoCカメラとAT PoCカメラ 2台が接続されています。
AT PoCカメラ 0台 または、AF PoCカメラを 0台追加できます。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

オンラインユーザー

[illegible]

名前	MACアドレス	接続状態	IPアドレス	タイプ	MTU
LAN1		成功	192.168.1.108	イーサネット	1500

51

自動再起動

なし

ケースファンモード*

連続運転

緊急メンテナンス

有効

スライドスイッチが有効(青色)のまま使用してください。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

[illegible]

初期設定

本機の設定を初期化、または工場出荷状態に戻します。

初期設定

ネットワーク、ユーザー管理などを除くすべてのパラメーターがデフォルト設定に戻ります。

工場初期出荷状態

すべてのパラメータは工場出荷時のデフォルト設定に復元されます。

初期設定

ネットワーク設定、ユーザー管理を除く全ての項目を初期設定に戻します。

●ログはクリアされません。

工場初期出荷状態

工場出荷時の状態に戻ります。

●ログもクリアされます。

アップデート

アップデートの有無、手順については、下記URLまたはQRコードをご覧ください。

https://www.maspro.co.jp/support/prod/sc/#i_oc2



アップデートした項目には **1** が表示されます。

- **1** はアップデートした項目の設定画面を開くと消えますが、電源OFF/ONすると、再度表示されます。

インテリジェンス診断

本機能は使用しません。

録画データのバックアップを行います。

[illegible]

デバイス名

バックアップ先のUSBデバイスを選択します。
デバイスをフォーマットする場合は、フォーマットを選択し、「FAT32」、「NTFS」のどちらかを選択し、レコーダに設定しているパスワードを入力すると、フォーマットします。
●フォーマットを行うとデバイスは初期化されますから、ご注意ください。

保存先

デバイス内の保存先を選択します。
ブラウザから保存場所の変更や、新しい
フォルダーの作成ができます。

チャンネル

バックアップするチャンネルを選択します。

「検索」ボタン：指定した時間帯の録画データを検索します。
「削除」ボタン：検索結果を削除します。

ご注意

Windows OS標準のプレイヤーでは、再生できないことがあります。
再生できない場合、VLC Media Playerや専用ソフトウェア「SmartPlayer」
で再生してください。

バックアップ手順例

- ①バックアップを作成する期間を設定し、「検索」ボタンをクリックします。
- ②表示された検索結果からバックアップするデータの左にチェックを入れます。
- ③「バックアップ」ボタンをクリックすると、録画データの書き出しが始まります。
 - 検索したデータ容量は左下に表示されます。USBデバイスの空き容量を確認し、バックアップを行なってください。バックアップを行うと、録画データが再生できるソフトウェア「SmartPlayer.exe」も保存されます。

出力表示の設定を行います。

出力表示

ライブ画面上の出力設定をします。

The screenshot shows a settings menu for 'Main Screen' (メインスクリーン). It includes options for 'Output Port' (出力ポート) set to 'VGA/HDMI', and checkboxes for 'Time Display' (時間表示), 'Channel Name' (チャンネル名), 'Original Ratio' (オリジナル比率), 'SMD Preview' (SMDプレビュー), and 'Live Audio Output' (ライブ音声出力). There are also sliders for 'Volume' (音量) set to +50 and 'Transparency' (透過度) set to +0%, and a dropdown for 'Resolution' (解像度) set to '1280x1024'.

時間表示

ライブ画面の時刻表示/非表示を設定します。

チャンネル名

ライブ画面のチャンネル表示/非表示を設定します。

オリジナル比率

接続しているカメラ映像の縦横比で表示します。

SMDプレビュー

本機能は使用しません。

ライブ音声出力

チェックを入れた場合、ライブ画面で音声をON/OFFすることができます。チェックを外した場合、ライブ画面で音声は出力されません。

音量

ライブ音声の音量を設定します。

透過度

メインメニュー表示などの表示透過度を設定します。

解像度

モニターへの出力解像度を設定します。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

指定されたチャンネルの順にループ表示させることができます。

[illegible]

有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

間隔

切換間隔を設定します。(5～120秒)

動体検知

本機能は使用しません。

アラーム入力

本機能は使用しません。

ライブ画面

OC2-R4P(2TB) : 1画面/4画面を選択します。

**OC2-R8P(2TB) : 1画面/4画面/8画面/9画面を
選択します。**

チャンネルグループ

グループに追加されたチャンネルです。

- | | |
|-----------|---|
| 「追加」ボタン | : チャンネルを追加します。
一度追加したチャンネルは重複して追加できません。 |
| 「修正」ボタン | : 追加したチャンネルを編集します。
重複したチャンネルに変更はできません。 |
| 「削除」ボタン | : チャンネルを削除します。 |
| 「上へ移動」ボタン | : チャンネルグループで選択しているチャンネルを一つ上の順位に移動します |
| 「下」ボタン | : チャンネルグループで選択しているチャンネルを一つ下の順位に移動します |
| 「初期設定」ボタン | : 各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。 |
| 「適用」ボタン | : クリックすると、設定が完了します。 |
| 「戻る」ボタン | : クリックすると、設定を反映せずに戻ります。 |

1画面表示を5秒毎切換える場合[OC2-R4P(2TB)]

チャンネル1→チャンネル2→チャンネル3→チャンネル4

- ①「有効」のスライドスイッチをクリックして有効にします。
- ②「間隔」を5秒に設定します。
- ③「ライブ画面」を「1画面」に設定し、チャンネルグループ内の1～4にチェックを入れます。
- ④「ライブ画面」を「4画面」に設定し、チャンネルグループ内のチェックを外します。
- ⑤「適用」をクリックします。
- ⑥ライブ画面に戻りツアーが開始されていることを確認します。

1画面表示を5秒毎切換える場合[OC2-R8P(2TB)]

チャンネル1→チャンネル2→チャンネル3→チャンネル4→チャンネル5→チャンネル6→チャンネル7→チャンネル8

- ①「有効」のスライドスイッチをクリックして有効にします。
- ②「間隔」を5秒に設定します。
- ③「ライブ画面」を「1画面」に設定し、チャンネルグループ内の1～8にチェックを入れます。
- ④「ライブ画面」を「4画面」に設定し、チャンネルグループ内のチェックを外します。
- ⑤「ライブ画面」を「8画面」に設定し、チャンネルグループ内のチェックを外します。
- ⑥「ライブ画面」を「9画面」に設定し、チャンネルグループ内のチェックを外します。
- ⑦「適用」をクリックします
- ⑧ライブ画面に戻りツアーが開始されていることを確認します。

シングルストリーム設定

遠隔視聴を行うとき、ビットレートを抑えて映像視聴するための設定ができます。

有効	☐
圧縮	H.264H
解像度	704x480(D1)
FPS	30
ビットレート(Kb/s)	1024

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

圧縮

H.264H固定です。

解像度

出力解像度を選択します。

FPS

フレームレートを設定します。

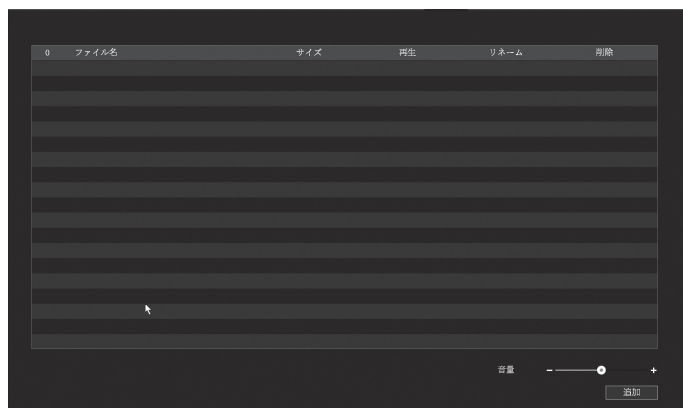
ビットレート

ビットレートを設定します。

音声出力の設定を行います。

ファイル管理

あらかじめ音声データを追加することで、動体検知などしたときに、音声データを再生することができます。



データを追加する場合は、「追加」ボタンをクリックして、USBデバイスより音声データを選択します。

●登録可能な音声データは「mp3」のみとなります。

自動出力

一定の間隔で音声出力を行う設定をします。

期間	ファイ...	間隔	繰り返す出力ポ...
☐ 00:00 ~ 24:00	なし	60 分	0 マイク
☐ 00:00 ~ 24:00	なし	60 分	0 マイク
☐ 00:00 ~ 24:00	なし	60 分	0 マイク
☐ 00:00 ~ 24:00	なし	60 分	0 マイク
☐ 00:00 ~ 24:00	なし	60 分	0 マイク
☐ 00:00 ~ 24:00	なし	60 分	0 マイク

期間

期間を設定します。
チェックを入れると有効になります。

ファイル

音声データのファイルを選択します。

間隔

再生間隔を設定します。

繰り返す

設定した期間内の音声出力回数を設定します。
「0」に設定すると、期間内は再生間隔に従い、出力を繰り返します。

出力ポート

出力先はマイク固定です。

設定メニュー (p.39)の項目一覧です。

カメラ

画像(p.60)

エンコード

音声/映像(p.61)

スナップショット(p.63)

オーバーレイ

オーバーレイ(p.64)

プライバシーマスク(p.65)

PTZ(p.66)

チャンネルタイプ(p.67)

同軸アップグレード(p.67)

ネットワーク

TCP/IP(p.68)

ポート(p.68)

Wi-Fi(p.69)

3G/4G(p.69)

PPPoE(p.69)

DDNS(p.70)

UPnP(p.71)

電子メール(p.72)

SNMP(p.73)

マルチキャスト(p.73)

アラームセンター (p.73)

自動登録(p.73)

P2P(p.73)

ストレージ

基本設定(p.74)

スケジュール

録画(p.75)

スナップショット(p.75)

HDD(p.76)

録画モード(p.77)

クォータ設定(p.77)

HDD検出

手動確認(p.78)

検出結果(p.78)

録画計算(p.79)

FTP(p.80)

システム

一般設定

基本設定(p.81)

日付時刻(p.82)

休日設定(p.83)

IPフィルタ

セキュリティステータス(p.84)

システムサービス

基本サービス(p.84)

802.1x(p.84)

HTTPS(p.84)

不正アクセス

ファイアウォール(p.85)

アカウントロックアウト(p.85)

アンチDoS攻撃(p.85)

時間同期許可リスト(p.85)

CA証明書

デバイス証明書(p.86)

信頼のあるCA証明書(p.86)

A/V暗号化

音声/ビデオ送信(p.86)

セキュリティ警告

セキュリティ警告(p.86)

不正ログイン(p.86)

アカウント

ユーザー (p.87)

グループ(p.89)

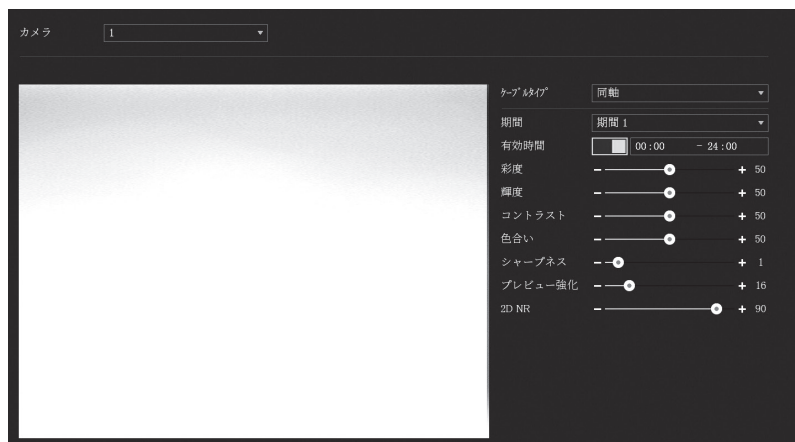
ONVIFユーザー (p.89)

パスワードリセット(p.89)

接続中のカメラの設定をします。

画像

映像の色合いなどの設定をします。



カメラ

設定するカメラのチャンネルを選択します。

ケーブルタイプ

「同軸」のまま使用してください。

期間

有効期間を2種類設定できます。

有効期間

彩度などの各設定を有効にする時間を入力します。

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

●有効期間1、2で重複した時間の入力できません。

彩度

彩度を調整します。

輝度

輝度を調整します。

コントラスト

コントラストを調整します。

色合い

色合いを調整します。

シャープネス

シャープネスを調整します。

プレビュー強化

画像の鮮明度を調整します。

数値が大きくなるほど鮮明になりますが、ノイズ成分が多くなります。

2D NR

画像に含まれるノイズ成分を調整します。

数値が大きくなるほど画質は綺麗になりますが、輪郭がぼやけたように見える場合があります。

「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。
「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

エンコード

音声/映像

録画の解像度やフレームレートなどを設定します。

カメラ	1	サブストリーム
メインストリーム		
エンコード	AIコーデック	ビデオ
タイプ	一般	ストリームタイプ
圧縮	H.265	サブストリーム 1
解像度	1920x1080(1080P)	圧縮
FPS	15	H.265
ビットレートタイプ	CBR	解像度
品質	1	352x240(CIF)
1フレーム間隔	1秒	FPS
ビットレート(Kb/s)	1024	15
		ビットレートタイプ
		CBR
		品質
		1
		1フレーム間隔
		1秒
		ビットレート(Kb/s)
		160
		他の設定

カメラ

設定するカメラのチャンネルを選択します。

メインストリーム

エンコード

AIコーデック/スマートコーデック/一般から選択します。

AIコーデック : 人と車両の画質を優先します。

スマートコーデック : 一般より高い圧縮方法になります。

タイプ

録画対象を一般/動体検知/アラームから選択します。

圧縮

録画データの圧縮方式を設定します。

解像度

録画データの解像度を設定します。

FPS

録画データのフレームレートを設定します。※1

ビットレートタイプ

CBR/VBRを選択します。※2

品質

品質を設定します。※3

1フレーム間隔

1フレーム間隔を設定します。

ビットレート

ビットレートを設定します。

他の設定

クリックすると音声の設定ができます。詳細は「他の設定」(p.62)をご覧ください。

※1 2台以上カメラを接続する場合、最大FPSは「15」に設定してください。

※2 「エンコード」が「一般」の場合、選択可能となります。

※3 品質を設定する場合はビットレートタイプを「VBR」に設定してください。

サブストリーム

ビデオ

ライブ映像をサブストリーム出力するか設定します。

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

ストリームタイプ

「サブストリーム1」固定です。

圧縮

サブストリームの録画データの圧縮方式を設定します。

解像度

サブストリームの録画データの解像度を設定します。

FPS

サブストリームの録画データのフレームレートを設定します。※1

ビットレートタイプ

CBR/VBRを選択します。

品質

品質を設定します。※2

Iフレーム間隔

Iフレーム間隔を設定します。

ビットレート

ビットレートを設定します。

※1 2台以上カメラを接続する場合、最大FPSは「15」に設定してください。

※2 品質を設定する場合はビットレートタイプを「VBR」に設定してください。

他の設定

音声の設定ができます。



「OK」をクリックすると、設定が完了します。

音声

録音を行う場合は有効にします。

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

圧縮

録音音声の圧縮方式を設定します。

音声ソース

HDCVIを使用します。

チャンネル1のみ「ローカル」が選択でき、レコーダー背面の音声入力を使用する場合、「ローカル」を選択します。

- 「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。
- 「コピー先」ボタン：各設定の内容を別のカメラに反映することができます。
反映を完了する場合、「適用」ボタンをクリックします。
- 「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
- 「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

スナップショット

静止画を記録するときの設定をします。

カメラ	1 ▼
タイプ	タイミング ▼
サイズ	352x240(CIF) ▼
品質	4 ▼
間隔	1 SPL ▼
手動スナップ	1 ▼ /枚

カメラ

設定するカメラのチャンネルを選択します。

タイプ

タイミング：あらかじめスケジュールした期間で撮影するときの設定です。

イベント：動体検知などのイベント時に撮影するときの設定です。

サイズ

画像サイズを設定します。

品質

画質を設定します。数値が大きいほど高画質になります。

間隔

スナップショットの撮影間隔を設定します。

●8秒以上は「カスタム」から設定します。

8秒と設定する場合、「8」と入力します。

手動スナップ

手動で撮影する場合に、1回の撮影で撮影したい枚数を設定します。

「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。

変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。

「コピー先」ボタン：各設定の内容を別のカメラに反映することができます。

反映を完了する場合、「適用」ボタンをクリックします。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

オーバーレイ

オーバーレイ

録画データの映像上に表示する日時とチャンネル名の設定をします。

カメラ 1

2024-06-04 16:34:35

カメラ1

☒ 時間表示 YYYY MM DD

☒ チャンネル名 カメラ1

カメラ

設定するカメラのチャンネルを選択します。

時間表示

日付表示形式を選択します。
表示形式は全てのカメラに反映されます。
表示する場合、チェックを入れます。

チャンネル名

チャンネル名を入力します。
表示する場合、チェックを入れます。

- 時間表示、チャンネル名表示は、ドラッグ操作で任意の位置に移動することができます。

- 「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。
- 「コピー先」ボタン：各設定の内容を、別のカメラに反映することができます。
反映を完了する場合、「適用」ボタンをクリックします。
(入力したチャンネル名はコピーされません)
- 「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
- 「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

プライバシーマスク

映像の一部をマスクするときに設定をします。
最大で4か所設定ができます。



カメラ

設定するカメラのチャンネルを選択します。

ライブ

ライブ映像をマスクする場合、チェックを入れ、マスクする箇所を設定します。

録画

録画映像をマスクする場合、チェックを入れ、マスクする箇所を設定します。

録画映像をマスクする場合、ライブ映像もマスクされます。

- 画面上に配置したマスクはドラッグ操作で任意の位置に移動、サイズの変更をすることができます。

「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

PTZ

カメラのメニューやズームなどを操作します。



カメラ

設定するカメラのチャンネルを選択します。

コントローラ

コントローラの操作方法は、「PTZコントロール」(p.27)をご覧ください。

コントロール

「同軸」のまま使用してください。

プロトコル

「HDCVI3.0」のまま使用してください。

アドレス

「1」のまま使用してください。

ボーレート

「9600」のまま使用してください。

データビット

「8」のまま使用してください。

ストップビット

「1」のまま使用してください。

パリティ

「なし」のまま使用してください。

ご注意

コントロール、プロトコル、アドレス、ボーレート、データビット、ストップビット、パリティの設定は変更しないでください。変更するとカメラの操作が、できなくなります。

「コピー先」ボタン：本機能は使用しません。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

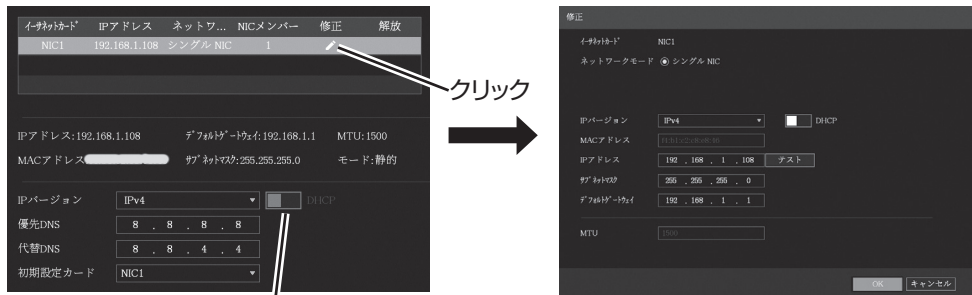
[illegible]

本機のネットワーク設定を行います。

TCP/IP

IPアドレスおよびDNSを設定します。

修正欄の  をクリックし、IPアドレスの編集画面を開き、IPアドレスなどを入力します。
(IPv6は使用しません)



「DHCP」のスライドスイッチが無効(灰色)の場合、DNSの設定ができます。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

ポート

本機が使用するプロトコルのポートを設定します。
ネットワークの環境に従って設定してください。

- アクセス可能数は回線速度に依存します。
同時接続は3ユーザーまでとなります。
- POSポートは、本機では使用しません。

最大接続数	128	(0 - 128)
TCPポート	37777	(1025 - 65535)
UDPポート	37778	(1025 - 65535)
HTTPポート	80	(1 - 65535)
HTTPSポート	443	(1 - 65535)
RTSPポート	554	(1 - 65535)
NTPサーバポート	123	(1 - 65535)
POSポート	38800	(1025 - 65535)

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

Wi-Fi

本機能は使用しません。

3G/4G

本機能は使用しません。

PPPoE

PPPoEを使用する場合に設定します。

- ①「有効」のスライドスイッチをクリックして、有効(青色)にします。
- ②プロバイダーから提供されるユーザー名とパスワードを入力して、「適用」をクリックします。

①クリック

有効 ☐

ユーザー名

パスワード

IPアドレス

②クリック

DDNS

DDNSを使用する場合に設定します。

- ①「有効」のスライドスイッチをクリックして、有効(青色)にします。
- ②「タイプ」のリストから、使用するDDNSを選択します。
- ③使用するDDNSで登録した、ドメイン名、ユーザー名およびパスワードを入力して、「適用」をクリックします。

The screenshot shows a DDNS configuration page. At the top, there is a toggle switch for '有効' (Enabled) with a callout ① pointing to it. Below the toggle is a note: 'DDNS機能を有効にすると、サーバーのサーバがデバイス情報を収集する場合があります。' (When the DDNS function is enabled, the server may collect device information). Below this is a dropdown menu for 'タイプ' (Type) with 'Changelp DDNS' selected, and a callout ② pointing to it. Below the dropdown are input fields for 'サーバーアドレス' (Server Address) with 'nic.Changelp.com', 'ドメイン名' (Domain Name), 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password). Below these is a '間隔' (Interval) field set to '5' minutes, with '(5 - 1092)' next to it. At the bottom, there are three buttons: 'テスト' (Test), '適用' (Apply), and '戻る' (Back). A callout ③ points to the '適用' button.

有効 ☐

DDNS機能を有効にすると、サーバーのサーバがデバイス情報を収集する場合があります。

タイプ Changelp DDNS

サーバーアドレス nic.Changelp.com

ドメイン名

ユーザー名

パスワード

間隔 5 分 (5 - 1092)

テスト 適用 戻る

UPnP

UPnPを使用する場合に設定します。

- ①「PAT」のスライドスイッチをクリックして、有効(青色)にします。
- ②ポートの設定を行い、「適用」をクリックします。

①クリック

PAT

☐

状態

オフライン

LAN IP

0 . 0 . 0 . 0

WAN IP

0 . 0 . 0 . 0

ポートマッピングリスト

7	サーバー名	プロトコル	内部ポート	外部ポート	修正
1	HTTP	TCP	80	80	
2	TCP	TCP	37777	37777	
3	UDP	UDP	37778	37778	
4	RTSP	UDP	554	554	
5	RTSP	TCP	554	554	
6	SNMP	UDP	161	161	
7	HTTPS	TCP	443	443	

適用

戻る

②クリック

電子メール

メール送信の設定をします。

有効	☐
SMTPサーバー	MailServer
ポート	25 (1 - 65535)
ユーザー名	
パスワード	
匿名	☐

受信者	受信者1
メールアドレス	none
送信者	
件名	XVR ALERT
添付ファイル	☐
暗号化形式	TLS
送信間隔	120 秒

死活監視	☐
送信間隔	60 分 (30 - 1440)

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
 「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

SMTPサーバー

SMTPサーバーを入力します。

ポート

ポートを入力します。

ユーザー名

ユーザー名を入力します。

パスワード

パスワードを入力します。

匿名

スライドスイッチをクリックして、メールの送信者名を表示しない(青色)、表示する(灰色)を選択します。

受信者

受信者情報を設定します。
 最大で3人まで設定できます。

メールアドレス

受信者のメールアドレスを入力します。

送信者

送信者のメールアドレスを入力します。

件名

メールの件名を入力します。

添付ファイル

スライドスイッチをクリックして、画像ファイルを添付する(青色)、添付しない(灰色)を選択します。

暗号化形式

暗号化形式を選択します。

送信間隔

メールの送信間隔を設定します。

死活監視

スライドスイッチをクリックして、本機の作動確認メールを送信する(青色)、送信しない(灰色)を選択します。

送信間隔

作動確認メールの間隔を設定します。

●各種設定値はメールアドレスを提供しているプロバイダーにご確認ください。

SNMP

本機能は使用しません。

マルチキャスト

本機能は使用しません。

アラームセンター

本機能は使用しません。

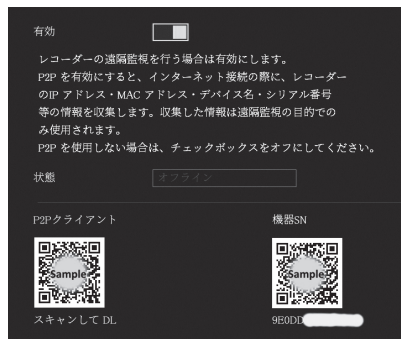
自動登録

本機能は使用しません。

P2P

遠隔監視を使用する場合、有効にします。

本機はスマートフォン・タブレット専用アプリケーション「DMSS」、またはPCソフト「SmartPSSLite」とP2P方式で接続できます。



「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

- 「状態」がオンラインになっている事を確認してください。
・状態がオンラインにならない場合、「TCP/IP」(p.68)をご確認ください。
- 「P2Pクライアント」を読込むと、アプリケーション「DMSS」のダウンロードリンクのページへ移動します。
- 「機器SN」はアプリケーション「DMSS」にレコーダーを登録する際に必要な15桁のシリアルナンバーのQRコードです。
- 「機器SN」のQRコード下部に記載されている文字列は、PCソフト「SmartPSSLite」を使用する場合に入力します。
- 遠隔監視を行う場合はインターネット接続が必要です。

ストレージの設定を行います。

基本設定

ハードディスクに録画する条件を設定します。

HDDフル	上書き
録画単位	時間区切り 60 分
古いファイルを自動削除	なし

HDDフル

ハードディスクがいっぱいになったときの作動を選択します。

上書き：古いデータから削除され上書きされます。

停止：録画を停止します。

録画単位

1ファイル当たりの生成方法を選択します。

時間区切り/ファイルサイズから選択できます。

古いファイルを自動削除

自動削除する場合は、カスタムを選択し、何日前のファイルを削除するか設定します。

「HDDフル」の設定が「上書き」の場合、ハードディスクがいっぱいになったとき、設定した日数によらず、古いファイルから削除して上書きします。

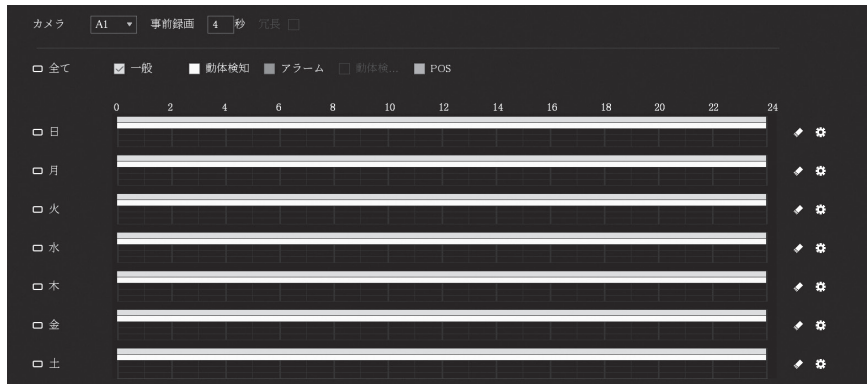
「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

スケジュール

録画・スナップショット

録画・スナップショットのスケジュールを設定します。



カメラ

設定するカメラのチャンネルを選択します。

事前録画

動体検知、ビデオロス、マスキング発生前何秒から録画するか設定します。
スナップショットでは、この設定項目はありません。

- 「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。
変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。
- 「コピー先」ボタン：各設定の内容を、別のカメラに反映することができます。
反映を完了する場合、「適用」ボタンをクリックします。
- 「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
- 「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

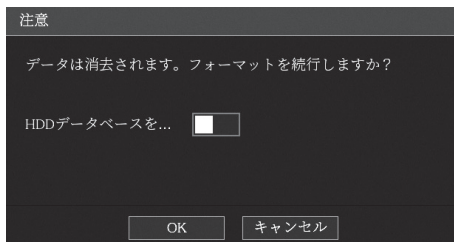
- スケジュール設定したい録画の種類(一般/動体検知/アラーム)のチェックボックスに、チェックを入れます。POSは使用しません。
- スケジュール内の時間帯をドラッグして、スケジュールを有効にします。
スケジュールが有効な時間をドラッグすると、スケジュールを無効にできます。
- 各曜日のスケジュール横の  をクリックすると、その曜日のスケジュールを無効にすることができます。
- 各曜日のスケジュール横の  をクリックすると、その曜日の詳細な時間を設定することができます。
- 「全て」の横の  をクリックし、 の表示状態では、いずれかの曜日を設定すると、全曜日に一括で設定が反映されます。この状態で「各曜日」の横の  をクリックすると、 の表示状態となり、一括の対象から外すことができます。

内蔵しているハードディスクの状態の表示、ハードディスクのフォーマットを行います。
ヘルスステータスが正常以外の場合、弊社技術相談にお問合わせください。

ご注意 プロパティは変更しないでください。

[illegible]

- ①フォーマットしたいハードディスクにチェックを入れます。
- ②「フォーマット」をクリックします。
 - 下記画面が表示されます。
- ③「HDDデータベースをクリア」のスライドスイッチは無効のままで、「OK」をクリックします。
 - パスワード入力画面が表示されます。



- ④パスワードを入力し、「OK」をクリックします。
●フォーマットを開始します。
- ⑤「操作成功」と表示されれば、フォーマット終了です。

録画モード

録画モードを選択します。

メインストリーム	全て	1	2	3	4
自動	☒	☒	☒	☒	☒
手動	☐	☐	☐	☐	☐
無効	☐	☐	☐	☐	☐
サブストリーム					
自動	☐	☐	☐	☐	☐
手動	☐	☐	☐	☐	☐
無効	☐	☒	☒	☒	☒
スナップショット					
有効	☐	☐	☐	☐	☐
無効	☐	☒	☒	☒	☒

メインストリーム、サブストリーム

自動

録画のスケジュール(一般/動体検知/アラーム)に従って、録画を行います。

手動

録画のスケジュールによらず、録画を行います。

無効

録画のスケジュールによらず、録画を行いません。

スナップショット

有効

スナップショットのスケジュール(一般)に従って、スナップショットを行います。

無効

スナップショットのスケジュール(一般)によらず、スナップショットを行いません。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

クォータ設定

本機能は使用しません。

手動確認

タイプ

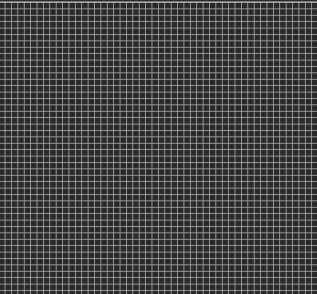
キーエリア検出

HDD

HDDを選択して下さい

検出開始

検出停止



■ OK
■ = 0 MB

■ BADセクタ ■ ブロック

HDD番号検出

0

合計容量

0.00 GB

エラー

-

現在のHDD

-

速度検出

-

進捗

-

時間検出

-

残り時間

-

「検出開始」ボタン：検出を開始します。

検出結果

[illegible]

録画可能時間を計算することができます。

各チャンネルの修正欄の  をクリックし、ビットレート、録画時間、解像度、FPSを設定します。
接続しないチャンネルは録画時間を「0」にします。

ハードウェアの容量(「HDD」(p.76)に表示されている全容量の値)を入力すると、録画可能時間が表示されます。

希望録画日数を入力すると、必要なハードウェアの容量が表示されます。

録画時間は連続録画を想定したときの目安値です。
動きの多い映像や色の種類が多い映像など、撮影環境によって
録画時間が短くなることがあります。

FTP

FTPサーバーに録画ファイルやスナップショットを保存します。

有効
☐
☐ FTP
☒ SFTP (推奨)

サーバーアドレス

ポート

22 (1 - 65535)

ユーザー名

パスワード

☐ 匿名

保存先

録画

ファイルサイズ

0 M

カメラ

1

現在の日付:

火

イベント

一般

期間 1

00:00 - 24:00

☐

☐

期間 2

00:00 - 24:00

☐

☐

スナップショット

画像のアップロード間隔

2 秒

カメラ

設定

有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。有効にした場合、プロトコルをFTP、SFTPから選択します。

サーバーアドレス

サーバーアドレスを入力します。

ポート

ポート番号を入力します。

ユーザー名

ユーザー名を入力します。

パスワード

パスワードを入力します。

匿名

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。有効にした場合、ユーザー名とパスワードを入力しなくてもログインできます。(FTPサーバーが匿名ユーザーによるアクセスを許可している場合)

保存先

保存するフォルダー名を設定します。

ファイルサイズ

アップロードする録画ファイルのサイズを入力します。入力したサイズが録画ファイルより短い場合は、一部がアップロードされます。0と入力した場合、設定した時間帯の録画ファイルがアップロードされます。

カメラ

録画ファイルをアップロードするカメラのチャンネルを設定します。

現在の日付、期間1、期間2

アップロードする曜日、時刻を設定します。最大2つの時間帯を設定できます。アップロードする録画タイプをイベント(動体検知、アラーム)/一般から選択します。

画像のアップロード間隔

スナップショットをアップロードする間隔を設定します。

カメラ

スナップショットをアップロードするカメラのチャンネルを設定します。

「初期設定」ボタン：各設定の初期設定状態を示します。変更する場合、「適用」ボタンをクリックします。
「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。
「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

システムの設定を行います。

一般設定

基本設定

基本設定を行います。

デバイス名	XVR
機器番号	8
言語	日本語 ▼
ビデオ規格	NTSC ▼
リアルタイム再生	5 分 ▼
自動ログアウト	10 分 表示モニタ (ログアウト)
ナビゲーションバー	☐
マウス感度	- 低速 <input type="range"/> 高速 +

デバイス名

本機の名前を設定します。

機器番号

本機の機器番号を設定します。

言語

GUIなどの表示言語を選択します。

ビデオ規格

「NTSC」を使用してください。

リアルタイム再生

ライブ画面のコントロールバーでリアルタイム再生するときに、さかのぼる時間を設定します。

自動ログアウト

自動ログアウトするまでの無操作時間を設定します。

また、「表示モニタ(ログアウト)」をクリックし、チャンネルのチェックボックスのチェックを外すことで、ログアウトしたとき、ライブ画面を非表示にすることができます。

ナビゲーションバー

本機能は使用しません。

マウス感度

本機能は使用しません。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

日付時刻

日付、時刻の設定を行います。

システム時刻	2024-04-16 16:02:05	
時間帯	(UTC+09:00)大阪、札幌、東京	保存
日付形式	YYYY MM DD	
日付区分記号	-	
時間形式	24-時間	

夏時間	☐
タイプ	☒ 日付 ☐ 週
開始時刻	1月 1 00:00
終了時刻	1月 2 00:00

NTP	☐
サーバーアドレス	ntp.nict.jp 直接入力
ポート	123 (1-65535)
間隔	60 分 (0-65535)

システム時刻

現在の日付、時刻を設定します。

時間帯

「大阪、札幌、東京」を選択します。

日付形式

年／月／日の並び順を選択します。

日付区分記号

年／月／日を区切る記号を選択します。

時間形式

24時間表示/12時間表示を選択します。

夏時間

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

タイプ

夏時間を有効にした場合、時刻指定を日付単位、または週単位で設定するか選択します。

開始時刻、終了時刻

夏時間を有効にした場合、開始時刻・終了時刻を選択します。

NTP

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

サーバーアドレス

NTPサーバーアドレスを設定します。

ポート

NTPサーバーのポート番号を設定します。

間隔

時刻の更新間隔を設定します。

- NTPサーバーを使用する場合、インターネット環境が必要になります。
- NTPサーバーに指定がない場合、入力項目の変更はしないでください。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

休日を追加で設定します。
設定した休日は録画スケジュールを設定する際に使用します。

[illegible]

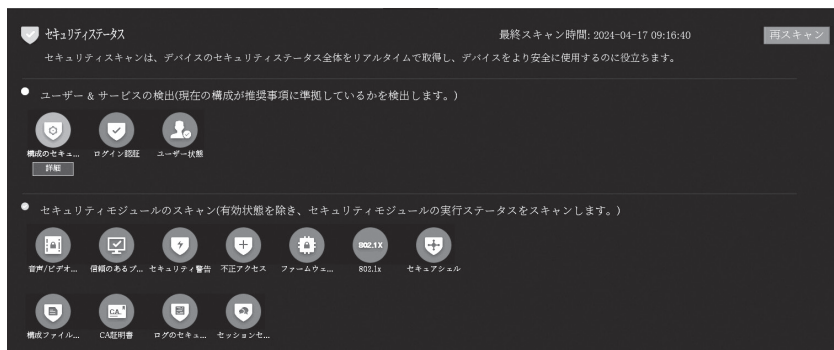
「追加」ボタンをクリックします。

削除したい日付の右側にある をクリックします。

ネットワークのセキュリティの設定を行います。

セキュリティステータス

セキュリティのステータス一覧を確認できます。
オレンジ色のアイコンは脆弱性を示しています。



システムサービス

基本サービス

初期設定状態で使用してください。

802.1x

初期設定状態で使用してください。

HTTPS

有効にすると、システムのセキュリティを強化することができます。

不正アクセス

ファイアウォール

ネットワークからの不正アクセスを防ぐ設定をします。

アカウントロックアウト

5 回ログインに失敗すると、アカウントは一時的にロックされます。30 分間ログインできません。

ログイン試行 5

ロックタイム 30 分

ログイン試行

パスワードの入力上限数を設定します。

入力が上限数を超えると、ロックタイムで設定した期間、ログインできなくなります。

ロックタイム

パスワードの入力上限数を超えたとき、ログインできない期間を設定します。

アンチDoS攻撃

アンチDoS攻撃を防ぐ設定をします。

時間同期許可リスト

時刻同期を、リスト内のホストで行う場合に設定します。

CA証明書

デバイス証明書

デバイス証明書の作成ができます。

信頼のあるCA証明書

信頼のあるCA証明書の作成ができます。

A/V暗号化

音声/ビデオ送信

ストリーム送信、RTSPを暗号化できます。

セキュリティ警告

セキュリティ警告

有効にするとネットワークからの攻撃があった場合、メッセージ表示やメール送信などができます。

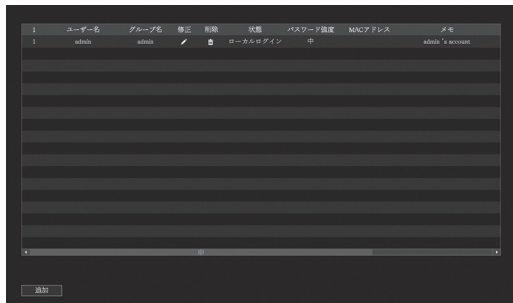
不正ログイン

有効にすると不正ログインを検知した場合、メール送信やブザーを鳴らす事などができます。

アカウントの設定を行います。

ユーザー

ユーザーの追加・編集、パスワードの変更を行います。



追加をする場合

「追加」ボタンをクリックします。

追加

ユーザー名		パスワード確認	
パスワード		ユーザーMAC	
メモ			
グループ	admin		
期間	設定		
パスワード有効期限	制限期限なし		
権限			
システム 検索 ライブ ☒ 全て ☒ アカウント ☒ ストレージ ☒ IPフィルタ ☒ システム ☒ イベント ☒ バックアップ ☒ システム情報 ☒ ネットワーク ☒ メンテナンス ☒ 手動制御 ☒ カメラ			
OK 戻る			

ユーザー名

ユーザー名を入力します。
1～31文字以内で、数字、アルファベット大文字・小文字、記号(「@」、「_」、「.」)から設定してください。

パスワード

8～32文字以内で、数字、アルファベット大文字・小文字、記号から、少なくとも2種類以上の構成で設定してください。

パスワード確認

確認のため再度、新しく設定したパスワードを入力します。

メモ

メモを記入します。
ユーザー画面のメモ欄に表示されます。

ユーザー MAC

MACアドレスを記載する場合に入力します。

グループ

グループを選択します。

期間

ログインできる曜日、時間帯を設定します。

パスワード有効期限

有効期限を設定します。

権限

有効にする権限にチェックを入れます。

編集をする場合

修正欄の  をクリックします。

修正

ユーザー名	admin	ユーザーMAC	: : : : :
パスワードの変更	☐	グループ	admin
旧パスワード		メモ	admin's account
新しいパスワード		解除パターン	☐
パスワード確認			
パスワードアシスト			
パスワード有効期限	無期限なし		

権限

システム	検索	ライブ
☒ 全て		
☒ アカウント	☒ システム	☒ システム権限
☒ ストレージ	☒ イベント	☒ ネットワーク
☒ プロファイル	☒ バックアップ	☒ メンテナンス
		☒ 不制期限
		☒ カメラ

OK 戻る

ユーザー名

編集するユーザーを選択します。

パスワードの変更

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

旧パスワード

現在のパスワードを入力します。

新しいパスワード

新しいパスワードを8文字～32文字以内で、数字、アルファベット大文字、小文字、記号から、少なくとも2種類以上の構成で設定してください。

パスワード確認

確認のための新しいパスワードを入力します。

パスワードアシスト

パスワードアシストを入力します。
ログイン画面で確認することができます。

パスワード有効期限

有効期限を設定します。

ユーザー MAC

MACアドレスを記載する場合に入力します。

グループ

グループを選択します。

メモ

メモを記入します。
ユーザー画面のメモ欄に表示されます。
追加されたユーザーのみ編集できます。

解除パターン

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。
スライドスイッチ右のアイコンをクリックするとパターンを変更できます。

権限

有効にする権限にチェックを入れます。

グループ

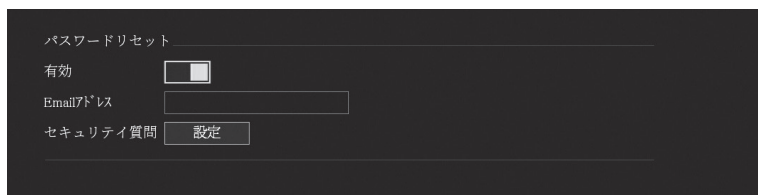
グループの追加ができます。

ONVIFユーザー

本機能は使用しません。

パスワードリセット

パスワードを忘れたとき、パスワードリセットをする際に必要な設定です。



有効

スライドスイッチをクリックして、有効(青色)、無効(灰色)を選択します。

Emailアドレス

パスワードリセット用の解除コードを受信するメールアドレスを入力します。

セキュリティ質問

質問を3つ選択し、それぞれの答えを入力します。

「適用」ボタン：クリックすると、設定が完了します。

「戻る」ボタン：クリックすると、設定を反映せずに戻ります。

ご注意

- 設定を行わないと、パスワードを忘れた場合、ログインできなくなります。必ず設定し、記録を残してください。
- パスワードを忘れて復旧できない場合、修理対応となります。

「バックアップ」(p.54)で、USBデバイスにバックアップした録画データを、専用ビューアー「SmartPlayer」で再生することができます。操作方法はビューアーのバージョンにより異なることがあります。

専用ビューアーの取得方法

本機でバックアップすると、バックアップした録画データとともに「SmartPlayer.exe」が保存されます。

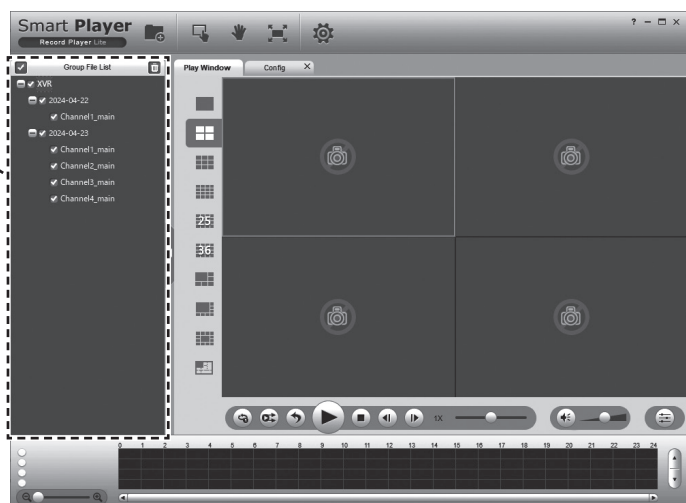
専用ビューアーで録画ファイルを再生する

- ①新規にフォルダーを作成し、「SmartPlayer.exe」とバックアップした録画データを保存します。
- ②「SmartPlayer.exe」をダブルクリックして、専用ビューアーを起動します。



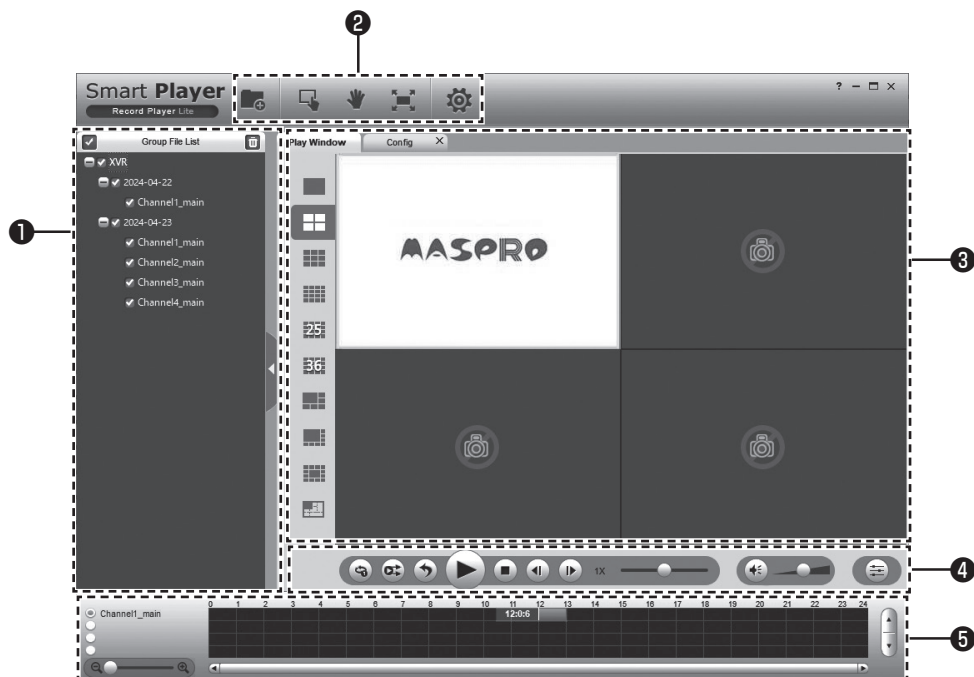
- ③Group File Listにフォルダー内の録画データが表示されます。

Group File List



- ④再生したい録画データをダブルクリックすると、再生が開始します。

メインメニュー



① Group File List(p.92)

「SmartPlayer.exe」と同一フォルダーにある録画データを表示します。

② メニューバー (p.92)

録画データの追加や表示領域変更など各種設定を行います。

③ Play Window(p.94)

再生する映像を表示します。

④ ツールバー (p.95)

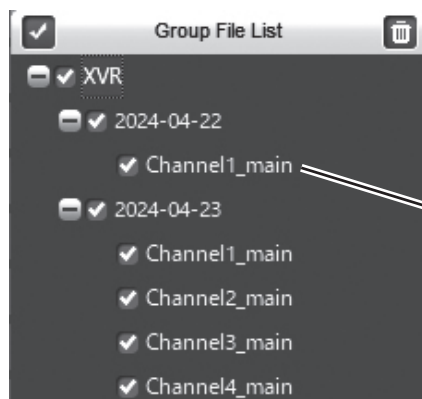
録画データの再生、停止などの操作を行います。

⑤ タイムバー (p.95)

再生しているデータや時刻を表示します。

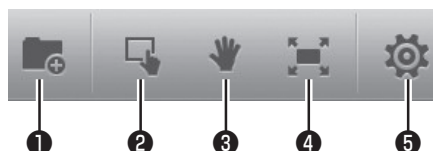
Group File List

「SmartPlayer.exe」と同一フォルダーにある録画データを表示します。
ファイル名(例:Channel□_main)をダブルクリックすると、再生が開始します。



ファイル名をダブルクリックすると、再生します。

メニューバー



① フォルダー

再生したい録画データを選択します。

② デジタルズーム

映像を拡大表示します。

《デジタルズームの操作方法》

1. デジタルズームのアイコンをクリックします。
2. 画面上で拡大表示したい部分をクリックし、ドラッグします。
3. 赤枠が表示されます。ドロップすると、その赤枠部分が拡大表示されます。
- 画面上で右クリックすると、ズーム表示が終了します。

③ 本機能は使用しません。

④ フルスクリーン

映像が全画面表示になります。
「ESC」を押すと、全画面表示が終了します。

⑤ 設定

設定画面が開きます。
詳細は「設定画面」(p.93)をご覧ください。

設定画面

Snap Path

スナップショットの保存先を設定します。

Snap Format

スナップショットの保存形式を選択します。

Video Path

録画の保存先を設定します。

Record Format

録画の保存形式を選択します。

Video Proportion

画面比率を選択します。

Sound Channel

音声チャンネルを選択します。

Video Rotation

再生する映像を回転します。

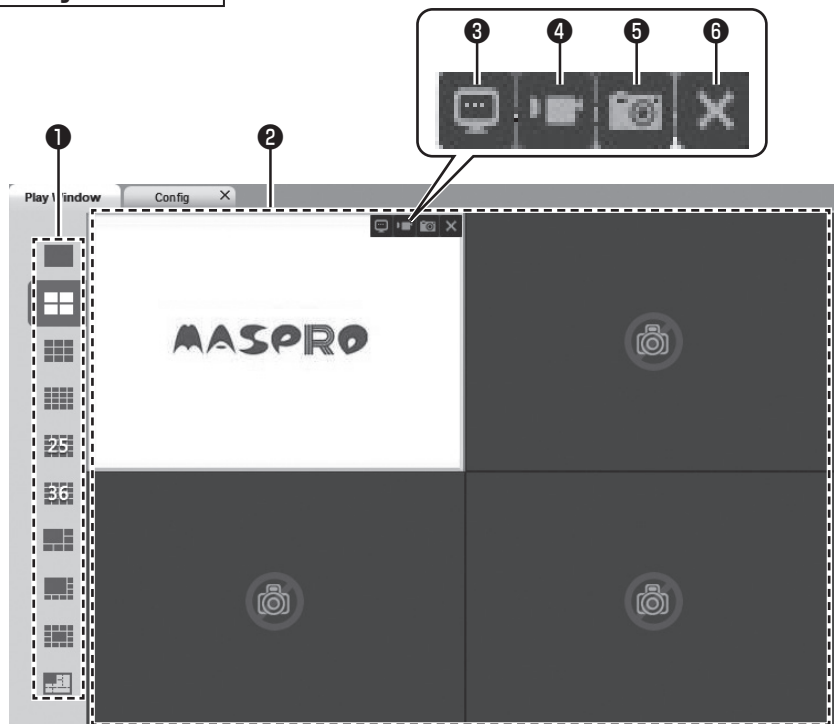
File Link

本機能は使用しません。

ご注意

設定した内容はビューアーを閉じるとクリアされます。
再度、ビューアーを開いたとき、必要に応じて設定をしてください。

Play Window



① 分割画面表示

分割画面の種類を選択します。

② ウィンドウ

青枠のウィンドウに再生する録画データの映像を表示します。

③ プロパティ

再生している録画データの解像度などの情報を表示します。

④ 録画

クリックすると、再生している映像の録画を開始します。
再度、クリックすると、録画を終了します。

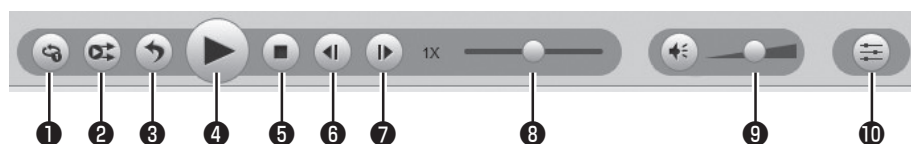
⑤ スナップショット

クリックすると、再生している映像の静止画を保存します。

⑥ 削除

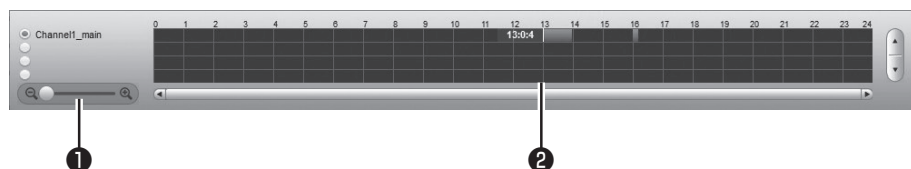
ウィンドウで再生中の映像を停止して、録画データ非選択の状態とします。

ツールバー



- ① **リピート**
リピート再生します。
- ② 本機能は使用しません。
- ③ **巻き戻し**
巻き戻します。
- ④ **再生／一時停止**
録画データの再生と一時停止を切替えます。
- ⑤ **停止**
ウィンドウで再生中の映像を停止して、録画データ非選択の状態とします。
- ⑥ **コマ送り**
一時停止中にフレームごとに次フレームにコマ送りします。
- ⑦ **コマ送り**
一時停止中にフレームごとに前フレームにコマ送りします。
- ⑧ **低速再生・高速再生**
再生速度を1/64～64倍速に変更できます。
- ⑨ **音量**
音量の調整をします。
- ⑩ **画質**
輝度、コントラスト、飽和度、色合いを調整します。

タイムバー



- ① **時間間隔**
再生バーに表示している時間間隔を変更できます。
- ② **再生バー**
再生する時間を示しています。
クリックして、再生したい時間を移動することもできます。

スマートフォンの設定をする

スマートフォンで映像を見る

本機をネットワークに接続することで、スマートフォン・タブレットからカメラ映像の確認や録画データの再生などを行うことができます。

設定の前に

この機能を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

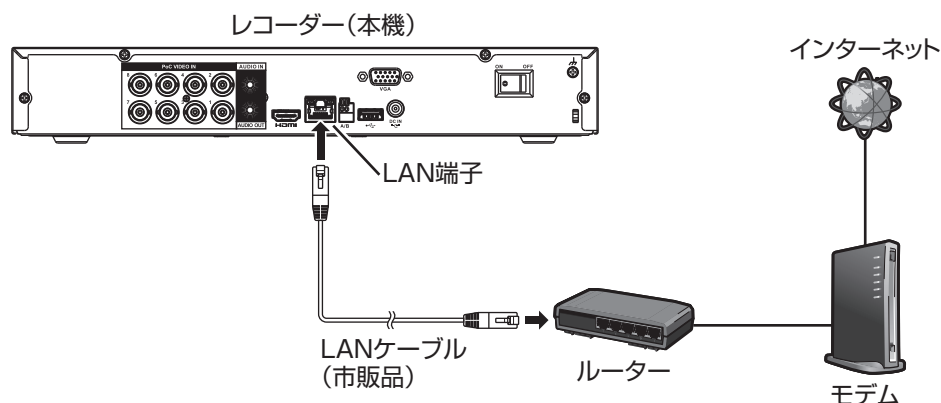
インターネット回線に接続する

本機背面のLAN端子とルーターをLANケーブルで接続します。

●無線LANでの接続はできません。

接続例

接続する環境により、接続方法は異なります。



ご注意

- P2P通信は契約しているインターネットサービスプロバイダーによっては、通信が制限されている場合があります。事前にインターネットサービスプロバイダーに確認してください。
- パソコンやスマートフォンで使用されているセキュリティソフトによって通信が制限される場合があります。また、その他ファイアウォールを制御するセキュリティ機器などが同一ネットワーク内にあるときは、ネットワーク管理者に確認してください。
- P2P通信に制限のあるプロバイダーの場合は通信を行えない場合があります。
- DDNS、グローバルIPを利用した遠隔監視は、本機が接続しているネットワークにポートフォワーディングの設定が必要となります。ポートフォワーディングの設定に関してはネットワーク管理者やインターネットサービスプロバイダにお問合わせください。
- 本製品を接続しているネットワークと同一のネットワークからのP2P通信は、正常に接続できない場合があります。同一のネットワークでアクセスする場合は、本機のIPアドレスを使用してアクセスします。

スマートフォンの設定をする つづき

スマートフォンで映像を見る

操作方法は端末の種類、アプリのバージョンにより異なることがあります。

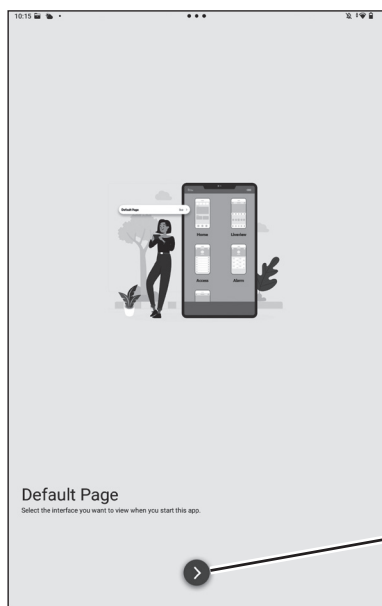
アプリをインストールし、設定する(Android端末)

- ①「P2Pクライアント」(p.73)より
アプリ「DMSS」をスマートフォンなどに
インストールし、アプリを起動します。



タップ

- ②スワイプ操作で画面を進め、
「>」をタップします。



タップ

- ③国の選択で、「Japan」をタップし、
「終了」をタップします。



1. タップ

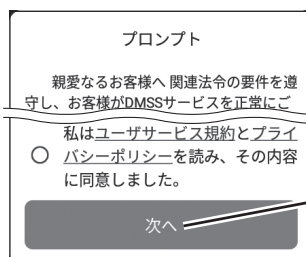
2. タップ

- ④プッシュ通知を有効にする場合、
「許可」をタップします。



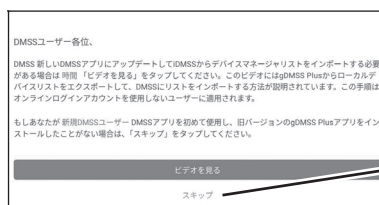
タップ

- ⑤プロンプトの内容を確認し、
「私はユーザーサービス規約とプライバシー
ポリシーを読み、その内容に同意しました。」
にチェックを入れ、
「次へ」をタップします。



タップ

- ⑥「スキップ」をタップします。



タップ

- ⑦「スキップ」をタップします。



タップ

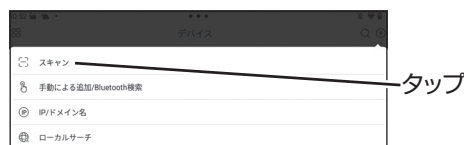
スマートフォンの設定をする つづき

スマートフォンで映像を見る

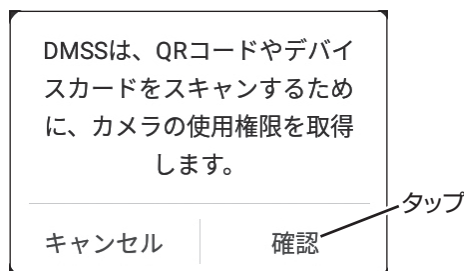
- ⑧ 右上の「+」をタップします。



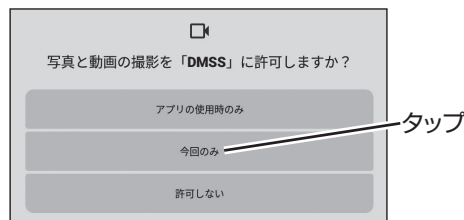
- ⑨ 「スキャン」をタップします。



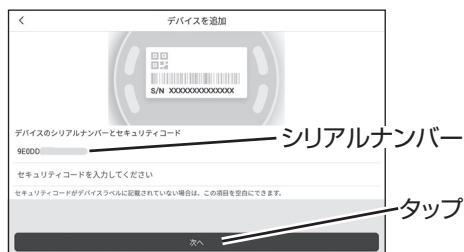
- ⑩ 「確認」をタップします。



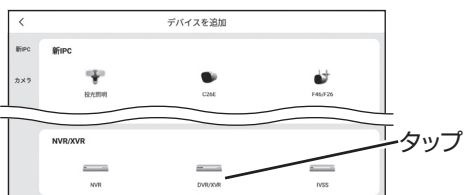
- ⑪ 「今回のみ」をタップします。



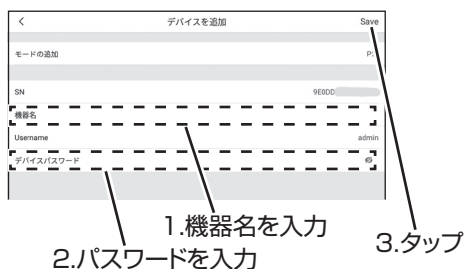
- ⑫ 機器SNのQRコード(p.73)をスキャンします。
シリアルナンバーが表示されたら、「次へ」をタップします。



- ⑬ 「DVR/XVR」をタップします。



- ⑭ 機器名を入力し、
本機のパスワードを入力して、
「Save」をタップします。



- ⑮ 「終了」をタップします。



スマートフォンの設定をする つづき

スマートフォンで映像を見る

操作方法は端末の種類、アプリのバージョンにより異なることがあります。

アプリをインストールし、設定する(iOS端末)

- ①「P2Pクライアント」(p.73)より
アプリ「DMSS」をスマートフォンなどに
インストールし、アプリを起動します。



タップ

- ②プッシュ通知を有効にする場合、
必要に応じて「許可」をタップします。

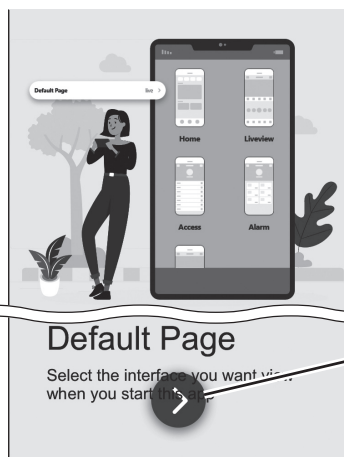


タップ



タップ

- ③スワイプ操作で画面を進め、
「>」をタップします。



タップ

- ④国の選択で、「Japan」をタップし、
「終了」をタップします。

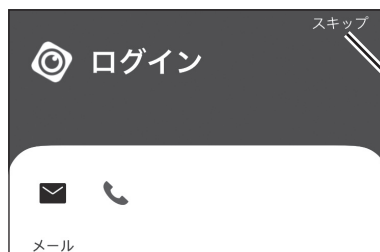


終了

1.タップ

2.タップ

- ⑤「スキップ」をタップします。

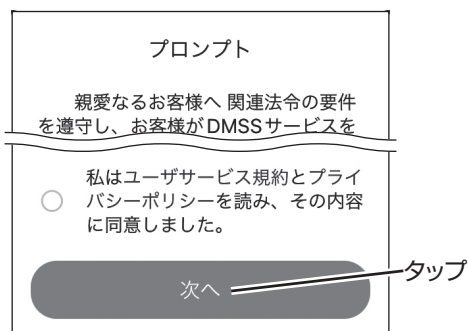


タップ

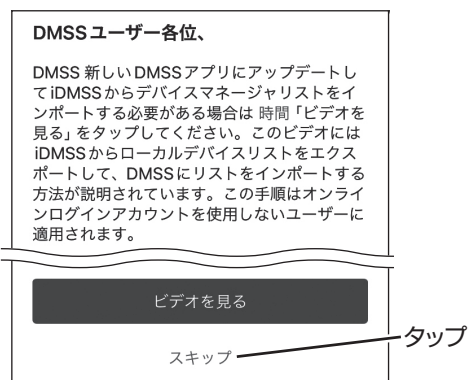
スマートフォンの設定をする つづき

スマートフォンで映像を見る

- ⑥プロンプトの内容を確認し、
「私はユーザーサービス規約とプライバシー
ポリシーを読み、その内容に同意しました。」
にチェックを入れ、
「次へ」をタップします。



- ⑦「スキップ」をタップします。



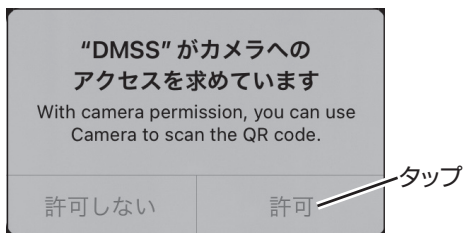
- ⑧右上の「+」をタップします。



- ⑨「スキャン」をタップします。



- ⑩「許可」をタップします。



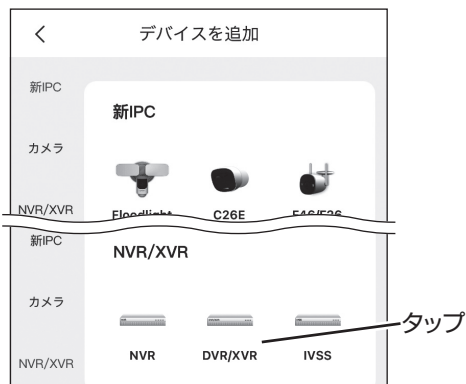
- ⑪機器SNのQRコード(p.73)をスキャン
します。
シリアルナンバーが表示されたら、
「次へ」をタップします。



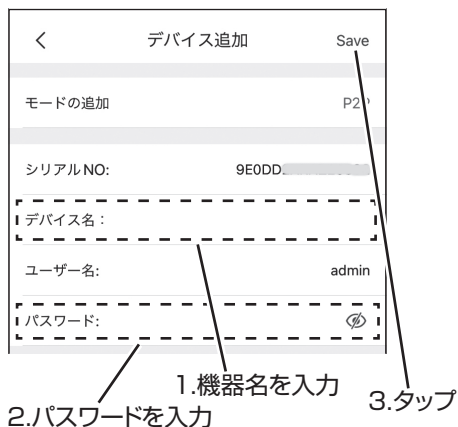
スマートフォンの設定をする つづき

スマートフォンで映像を見る

⑫「DVR/XVR」をタップします。



⑬機器名を入力し、
本機のパスワードを入力して、
「Save」をタップします。



⑭「許可」をタップします。



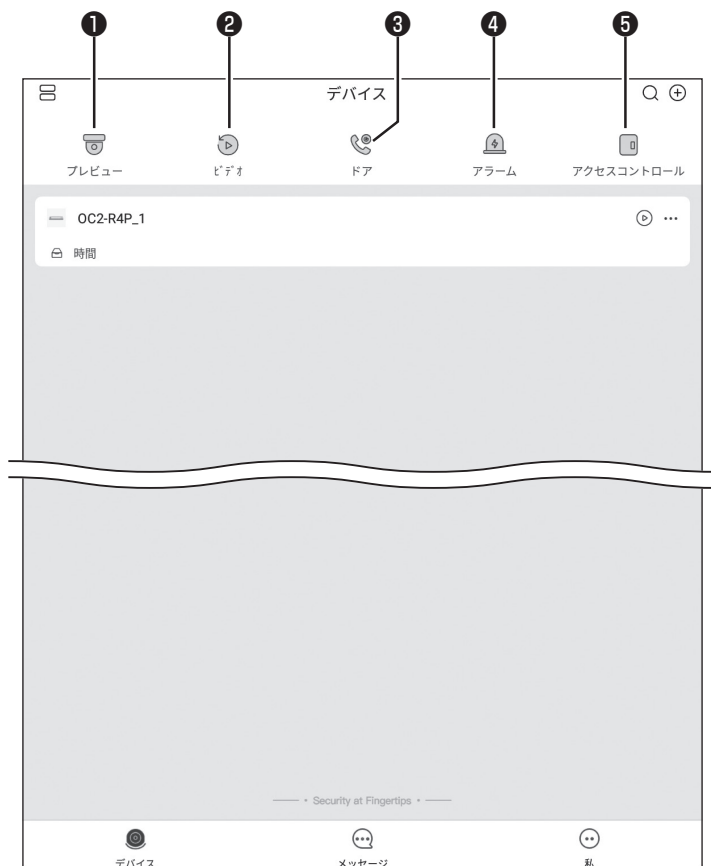
⑮「完成」をタップします。



デバイス画面

アプリを起動し、表示されるデバイス画面では、接続しているカメラ映像の確認、録画映像の再生を行います。

●以下はAndroid端末の画面です。



① プレビュー

接続しているカメラ映像の確認を行います。

② ビデオ

録画映像の再生を行ないます。

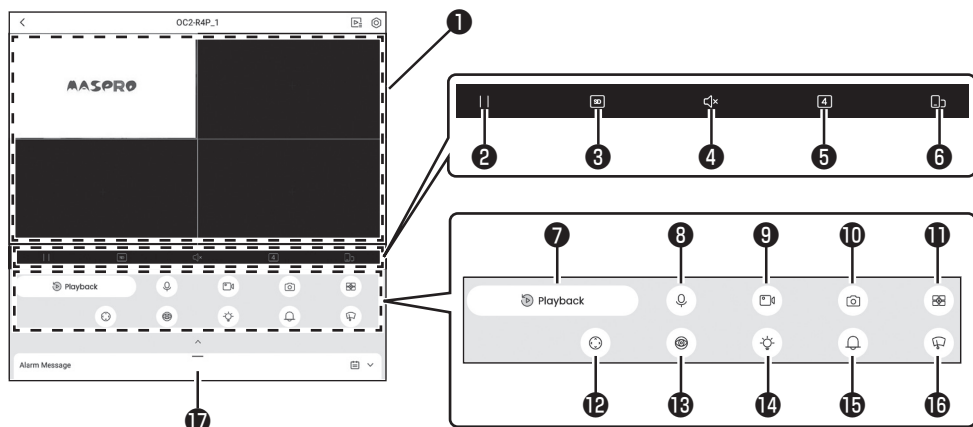
③ 本機能は使用しません。

④ 本機能は使用しません。

⑤ 本機能は使用しません。

ライブ画面

デバイス画面の「プレビュー」をタップして、接続しているカメラ映像の確認を行います。



① ウィンドウ

選択しているカメラの映像を表示します。映像を表示していないウィンドウの「+」をタップして、表示したいカメラを選択することができます。

2回タップすると表示する画面(ウィンドウ)を1画面/分割画面と切替えることができます。

② ライブ再生/一時停止

ライブ再生と一時停止を切替えます。

③ ストリーム選択

メインストリーム(HD)とサブストリーム(SD)を切替えます。

④ ミュート

ミュートのON/OFFを切替えます。

⑤ 分割選択

表示する画面(ウィンドウ)数を切替えます。

⑥ 縦横画面切替

画面表示の縦横方向を切替えます。

⑦ 録画再生

録画データを再生するモードに切替わります。

⑧ 本機能は使用しません。

⑨ 録画

選択しているカメラ映像の録画の開始/停止を行います。

⑩ スナップショット

選択しているカメラの静止画を撮影します。

⑪ 全ての再生を停止

ライブ再生を終了し、全てのカメラのライブ映像を再生対象から外します。

⑫ 本機能は使用しません。

⑬ 本機能は使用しません。

⑭ 本機能は使用しません。

⑮ 本機能は使用しません。

⑯ 本機能は使用しません。

⑰ アラームメッセージ

アラームメッセージの一覧を表示します。

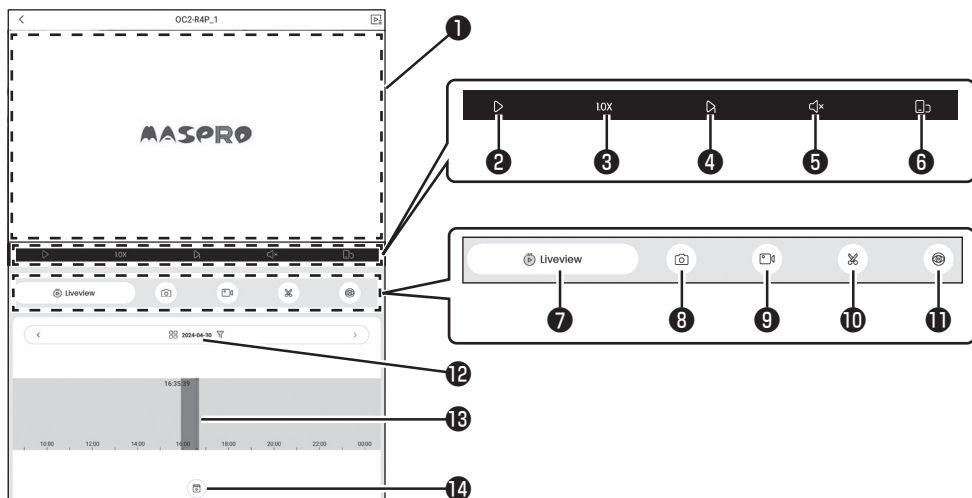
● をタップするとカレンダーが表示されます。

日付をタップすると、アラームメッセージが、選択した日に発生したか確認することができます。

アラームメッセージの表示設定は、「アラームメッセージ設定」(p.105)をご覧ください。

録画再生

デバイス画面の「ビデオ」をタップして、録画映像の再生を行います。



① ウィンドウ

選択しているカメラの録画映像を表示します。映像を表示していないウィンドウの「+」をタップして、表示したいカメラを選択することができます。

2回タップすると表示する画面(ウィンドウ)を1画面/分割画面と切替えることができます。

② 再生/一時停止

再生と一時停止を切替えます。

③ 低速再生・高速再生

再生速度を0.125～8倍速に変更できます。

④ コマ送り

一時停止中にフレームごとに次フレームにコマ送ります。

⑤ ミュート

ミュートのON/OFFを切替えます。

⑥ 縦横画面切換

画面表示の縦横方向を切替えます。

⑦ ライブ画面

ライブ映像を表示するモードに切替わります。

⑧ スナップショット

再生しているカメラ映像の静止画を撮影します。

⑨ 録画

再生しているカメラ映像の、録画の開始/停止を行います。

⑩ ビデオクリップ

時刻を指定してカメラ映像の録画ができます。(最大30分)

- タップすると▶、■が表示されます。タイムバーで開始時刻を選択し、▶をタップした後、終了時刻を選択し、■をタップすると、選択した期間の映像が録画できます。

⑪ 本機能は使用しません。

⑫ 日付選択

再生する日付を選択します。

⑬ タイムバー

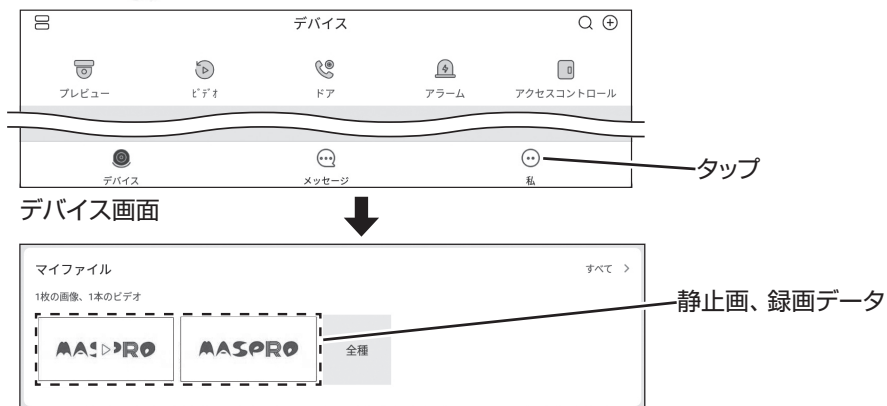
再生している時刻を表示します。録画データがある時間に色がつきます。

⑭ 録画データ一覧

選択した日付の録画データの一覧を表示します。

スナップショット・録画データ確認

デバイス画面で  をタップすると、スナップショットした静止画や録画したデータを確認できます。



アラームメッセージ設定

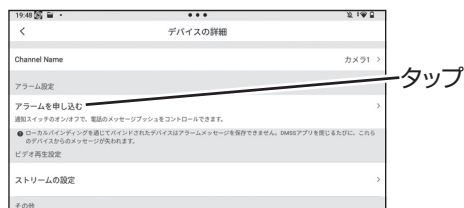
動体検知などが発生したときにアラームメッセージを表示することができます。
(事前に本機の動体検知などを有効にする必要があります)

① ライブ画面でカメラを選択し、

 をタップします。



② 「アラームを申し込む」をタップします。



③ 機器名のスライドスイッチをタップし、有効にします。



④ アラームメッセージを表示するアラームにチェックを入れ、有効にして、「Save」をタップします。



本機をネットワークに接続することで、パソコンからカメラ映像の確認や録画データの再生などを行うことができます。

設定の前に

この機能を使用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

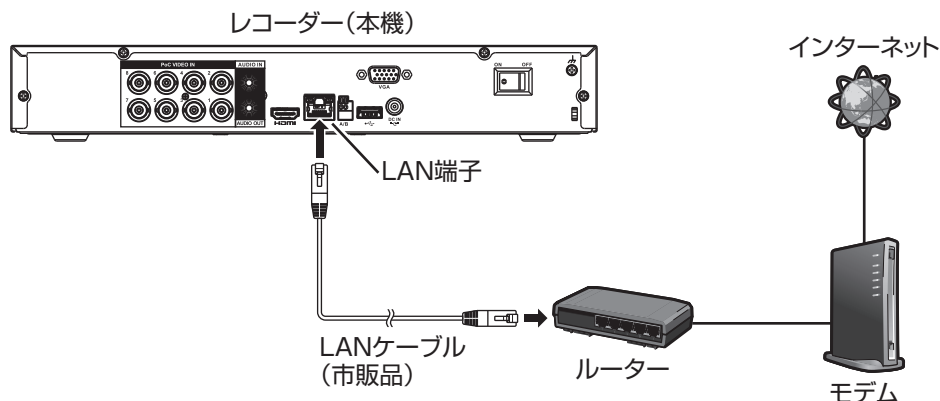
インターネット回線に接続する

本機背面のLAN端子とルーターをLANケーブルで接続します。

●無線LANでの接続はできません。

接続例

接続する環境により、接続方法は異なります。



ご注意

- P2P通信は契約しているインターネットサービスプロバイダーによっては、通信が制限されている場合があります。事前にインターネットサービスプロバイダーに確認してください。
- パソコンやスマートフォンで使用されているセキュリティソフトによって通信が制限される場合があります。また、その他ファイアウォールを制御するセキュリティ機器などが同一ネットワーク内にあるときは、ネットワーク管理者に確認してください。
- P2P通信に制限のあるプロバイダーの場合は通信を行えない場合があります。
- DDNS、グローバルIPを利用した遠隔監視は、本機が接続しているネットワークにポートフォワーディングの設定が必要となります。ポートフォワーディングの設定に関してはネットワーク管理者やインターネットサービスプロバイダにお問合わせください。
- 本製品を接続しているネットワークと同一のネットワークからのP2P通信は、正常に接続できない場合があります。同一のネットワークでアクセスする場合は、本機のIPアドレスを使用してアクセスします。

操作方法は端末の種類、アプリのバージョンにより異なることがあります。

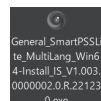
アプリのインストール

- ① 当社ホームページ(下記URLまたは右記QRコード)より専用アプリ「SmartPSSLite」をダウンロードします。

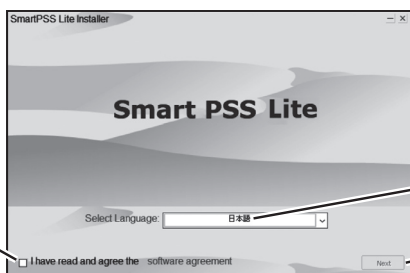
https://www.maspro.co.jp/support/prod/sc/#i_oc2



- ② ダウンロードした「SmartPSSLite.zip」を解凍し、インストーラー「General_SmartPSSLite… .exe」を起動します。



- ③ Select Languageを「日本語」に設定します。
「I have read and agree the software agreement」にチェックを入れ、「Next」をクリックします。



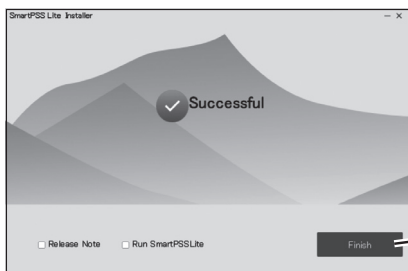
1. 「日本語」に設定
2. チェックを入れる
3. クリック

- ④ インストール先を設定します。
「Add desktop shortcut」にチェックを入れるとデスクトップにショートカットが作成されます。
「Install」をクリックするとインストールが開始されます。



1. インストール先を設定
2. 必要に応じてチェックを入れる
3. クリック

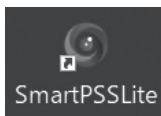
- ⑤ 「Successful」と表示されるとインストールは終了です。
「Finish」をクリックします。



クリック

アプリの初期設定

- ①インストールした専用アプリ「SmartPSSLite」を起動します。



- ②「ビデオモニター」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

1.チェックを入れる



2.クリック

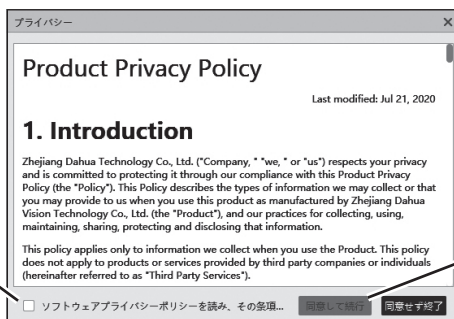
- ③ソフトウェアライセンス規約の内容を確認し、「ソフトウェアライセンス規約を読み、内容に同意しました。」にチェックを入れ、「同意して続行」をクリックします。



1.チェックを入れる

2.クリック

- ④ソフトウェアプライバシーポリシーの内容を確認し、「ソフトウェアプライバシーポリシーを読み、その条項に同意します。」にチェックを入れ、「同意して続行」をクリックします。



1.チェックを入れる

2.クリック

⑤パスワードを設定します。

確認欄にも同じパスワードを設定し、「次へ」をクリックします。

- パスワードは英語・数字・記号の中から少なくとも2つ以上を使用し、8文字以上の必要があります。

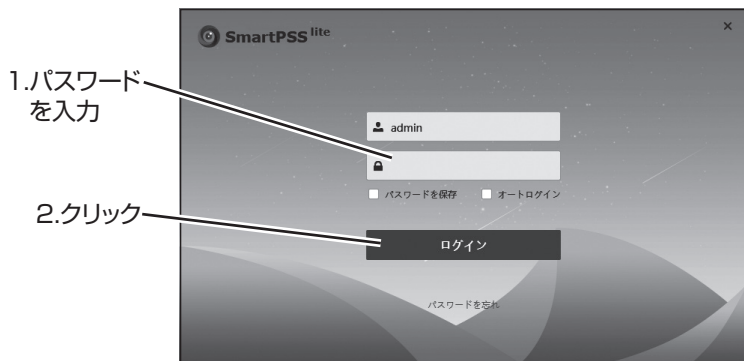
⑥セキュリティ質問1～3の答えを入力し、「終了」をクリックします。

これで初期設定は完了です。

レコーダーの登録

「SmartPSSLite」で映像の確認を行うレコーダーを登録します。

- ①「SmartPSSLite」を起動します。
 - ログイン画面が表示されます。
- ②パスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



- ③「新規」をクリックし、「デバイス」をクリックします。



- ④「+追加」をクリックします。



⑤登録方法は「SN(P2P対応デバイス向け)」,または「IP/ドメイン」で行います。

- P2P通信が可能な環境では「SN(P2P対応デバイス向け)」を選択します。
- ローカルネットワークでの接続やグローバルIP、DDNSを使用する場合は、「IP/ドメイン」を選択します。

SN(P2P対応デバイス向け)で登録する場合

追加

チャンネル名: *

登録モード: SN(P2P対応デバイス向け)

SN: *

ユーザー名: *

パスワード: *

追加と続行 追加 キャンセル

「追加」をクリックして、設定を完了します。

チャンネル名

任意の名前を登録します。

登録モード

SN(P2P対応デバイス向け)を選択します。

SN

本機の機器SNを入力します。
機器SNは「P2P」(p.73)をご覧ください。

ユーザー名

本機のユーザー名を入力します。

パスワード

本機のパスワードを入力します。

IP/ドメインで登録する場合

追加

チャンネル名: *

登録モード: IP/ドメイン

IP/ドメイン: *

ポート: * 37777

ユーザー名: *

パスワード: *

追加と続行 追加 キャンセル

「追加」をクリックして、設定を完了します。

チャンネル名

任意の名前を登録します。

登録モード

IP/ドメインを選択します。

IP/ドメイン

本機で設定したDDNSのドメイン名、またはグローバルIPを入力します。

ポート

本機のTCPポートを入力します。

ユーザー名

本機のユーザー名を入力します。

パスワード

本機のパスワードを入力します。

ライブビュー

映像の表示

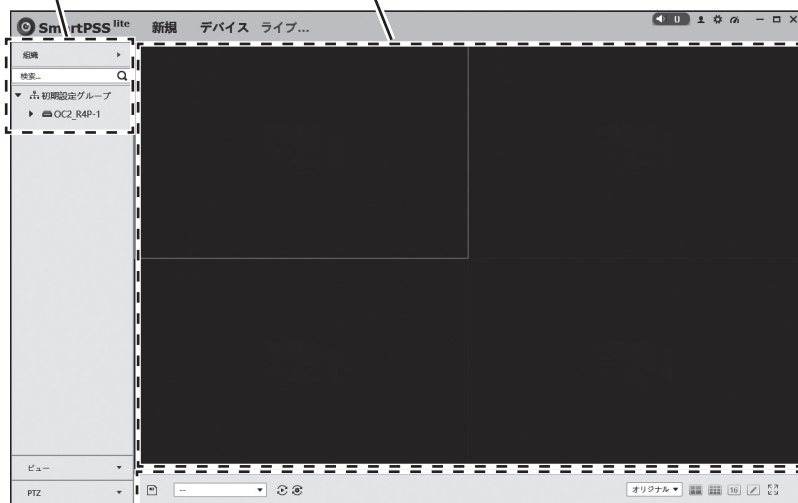
①「新規」をクリックし、「ライブビュー」をクリックします。



②「ライブビュー」が表示されます。

カメラ選択ウィンドウ

ライブビュー画面



ツールバー (p.114)

- ③カメラ選択ウィンドウの「初期設定グループ」の「▶」をクリックします。
●登録したレコーダーが表示されます。
- ④レコーダーの「▶」をクリックします。
●接続されているカメラが表示されます。
- ⑤カメラのアイコンをライブビュー画面にドラッグアンドドロップすると、映像が表示されます。

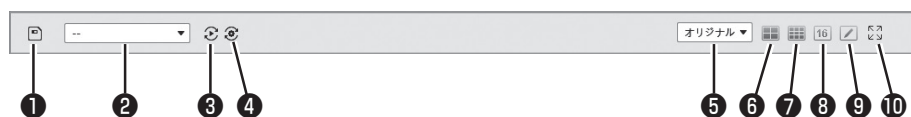


または、カメラのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「メインストリーム」、または「サブストリーム」をクリックすると映像が表示されます。

●映像の遅延が発生する場合は「サブストリーム」を選択してください。



ツールバー

**① ビュー保存**

現在のライブビュー（分割数やカメラの表示配置）を保存します。
保存したライブビューは左側の「ビュー」から選択できます。

② 本機能は使用しません。**③ 本機能は使用しません。****④ 本機能は使用しません。****⑤ 縦横比**

映像の縦横比を変更します。

⑥ 4画面

4分割表示します。

⑦ 9画面

9分割表示します。

⑧ 16画面

16分割表示します。

⑨ カスタマイズ画面

カスタマイズ分割表示します。

⑩ フルスクリーン

全画面表示します。
「ESC」を押すと、全画面表示が終了します。

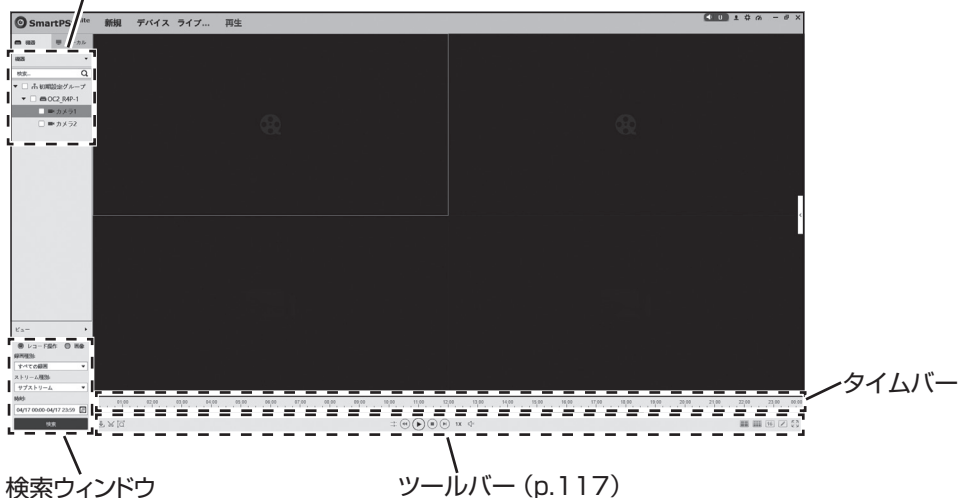
録画再生

①「新規」をクリックし、「再生」をクリックします。



②録画再生画面が表示されます。

カメラ選択ウィンドウ



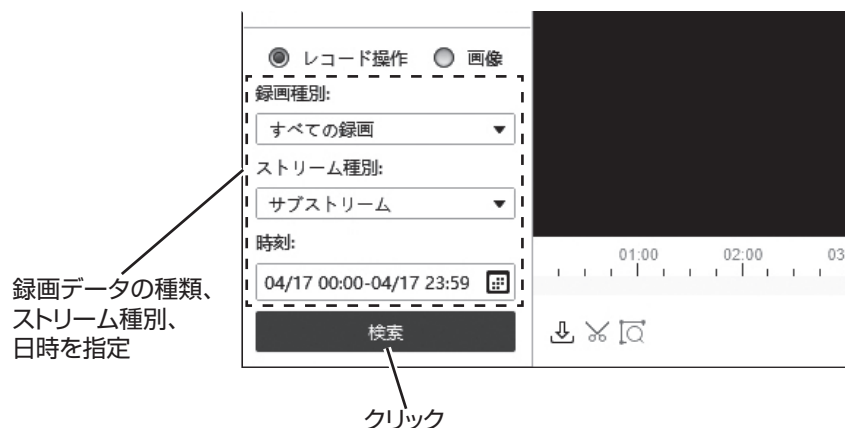
- ③カメラ選択ウィンドウの「初期設定グループ」から、録画再生を行うカメラにチェックを入れます。



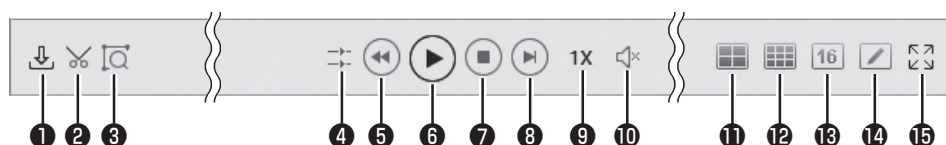
- ④検索ウィンドウで、再生したい録画データの種類、ストリーム種別、日時を指定し、「検索」をクリックします。

録画データがある場合、タイムバーに表示されます。

タイムバーをクリック、または再生ボタンをクリックすると、録画データの再生が始まります。



ツールバー

**① ダウンロード進捗**

録画データのダウンロード状況を表示します。

② ダウンロード

現在、再生している時間から1時間後までの録画データをダウンロードします。

2回クリックすると、ダウンロードの確認画面が表示されます。

ダウンロードを開始するとき、再生は停止します。

③ 本機能は使用しません。**④ 同期再生**

2つ以上のカメラの録画データを同時に再生します。

⑤ 逆再生

逆再生します。

⑥ 再生/一時停止

録画の再生と一時停止を切替えます。

⑦ 停止

再生を停止します。

⑧ コマ送り

一時停止中にフレームごとに次フレームにコマ送りします。

⑨ 低速再生・高速再生

再生速度を1/8～8倍速に変更できます。

⑩ 音量

音量の調整をします。

⑪ 4画面

4分割表示します。

⑫ 9画面

9分割表示します。

⑬ 16画面

16分割表示します。

⑭ カスタマイズ画面

カスタマイズ分割表示します。

⑮ フルフルスクリーン

全画面表示します。

「ESC」を押すと、全画面表示が終了します。

ビットレート (kbps)	録画時間(日)	
	OC2-R4P(2TB) カメラ4台接続	OC2-R8P(2TB) カメラ8台接続
640	64	32
768	53	26
895	46	23
1024	40	20
1280	33	16
1536	26	13
1792	23	11
2048	20	10
4096	10	5

「録画計算」(p.79)で
 ハードウェアの容量：1.79TB
 カメラの録画時間：24時間
 解像度：1920×1080(1080p)
 FPS：15
 に設定した場合。

ご注意

録画時間は連続録画を想定したときの目安値です。
 動きの多い映像や色の種類が多い映像など、撮影環境によって
 録画時間が短くなることがあります。

項目		規格
ビデオ部		
録画	映像圧縮方式	H.265、H.264H、H.264、H.264B
	録画解像度	5M-N、4M-N、1080p、720p
	フレームレート	5M-N@20fps、4M-N@30fps、1080p@30fps、720p@30fps
	モード	常時録画、スケジュール録画、動体検知録画、アラーム録画、手動録画
画面表示	画面解像度	HDMI、VGA：1920×1080、1280×1024、1280×720
	画面モード	1、4分割[OC2-R4P(2TB)] 1、4、8、9分割[OC2-R8P(2TB)]
再生	再生速度	1/16、1/8、1/4、1/2倍 ×1、×2、×4、×8、×16倍 1分、3分、5分、15分、30分
	同時再生	4チャンネル[OC2-R4P(2TB)] 8チャンネル[OC2-R8P(2TB)]
インターフェース部		
映像入力端子		BNC.J×4[OC2-R4P(2TB)] BNC.J×8[OC2-R8P(2TB)]
映像出力端子		HDMI×1/VGA×1
音声入力端子		RCA.J×1
音声出力端子		RCA.J×1
ネットワーク端子		RJ45×1
シリアル端子		USB2.0×2
ネットワーク部		
プロトコル		HTTP、HTTPS、IPv4、TCP/IP、PPPoE、DHCP、NTP、DDNS、FTP、UPnP、RTSP、UDP、SMTP、P2P
モバイル対応OS (DMSS)		iOS10.0以降、Android5.0以降
パソコン対応OS (SmartPSSLite)		Windows10(64bit)、Windows11(64bit)
同時アクセスユーザー		3ユーザー
一般		
バックアップ		USB2.0フラッシュメモリー、外付けハードディスク(最大2TB)
使用温度範囲		0～⊕40℃
電源		DC53V(ACアダプター)[OC2-R4P(2TB)] DC54V(ACアダプター)[OC2-R8P(2TB)]
消費電力		約56VA/約55W[OC2-R4P(2TB)] 約92VA/約90W[OC2-R8P(2TB)]
外観寸法		55(H)×325(W)×256(D)mm
質量(重量)		約1.7kg[OC2-R4P(2TB)] 約1.8kg[OC2-R8P(2TB)]

ワンケーブルカメラ用レコーダー保証書

持込修理

MODEL ☐OC2-R4P(2TB)、☐OC2-R8P(2TB) (お買上げの製品の型名にチェックを入れてください。)

お客様ご住所	
TEL.	— —
★お客様お名前	様
★保証期間(販売店記入欄)	
お買上げ日	年 月 日から1年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)	
TEL.	— —

★印の欄にご記入のない場合には保証サービスの提供ができません。本書は再発行いたしません、紛失しないよう大切に保管してください。

保証規定

- 店舗購入の場合、故障した本製品(以下「修理品」)、付属品、ご購入日を証明できる書類(領収書など)、および本保証書を、購入した店舗にお持込みください。
通信販売での購入の場合、修理品、付属品、ご購入日が確認できる書類、本保証書、および修理サービス申込書(弊社ウェブサイトからダウンロード)、を弊社修理係に直接ご送付ください。
- お申込み後、弊社の選択により無償修理または無償で新品代替交換(以下「無償修理など」)いたします。なお、次の場合、無償修理などの対象となりません。
 - ・必要な各書類の提示がない、または書類の字句が書換えられた場合
 - ・火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、戦争、暴動、テロ行為、破壊行為、公害、塩害、ガス害、異常電圧、またはこれらに類する原因による故障および損傷
 - ・ご使用上の誤りによる故障および損傷
 - ・不当な修理や改造による故障および損傷
 - ・お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
 - ・他の機器などにより誘発された故障および損傷
 - ・特殊な環境下(例えば車両・船舶への搭載など)で使用されたときの故障および損傷
 - ・設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷
 - ・消耗部品の交換
 - ・日本国外で購入もしくは使用された機器の故障および損傷
 - ・その他、上記に準じた理由により無償修理などが適切ではないと弊社が判断した場合
- 店舗への持込費用、または弊社修理係へご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。
- 適切な梱包のうえ、受渡しの確認ができる手段(宅配など)でご送付ください。弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 無償修理などを行った場合、本製品は原則として工場出荷状態でご返却いたします。
- 製品に保存されているデータは、ご自身でバックアップの上、ご送付ください。無償修理などにより、保存データは原則として全て消去されます。保存データの消失、破損などについては一切保証いたしません。また、故障原因の確認や修理のために、保存データを調査させていただく場合があります。
- お客様が弊社の保証サービスに関連して弊社の責に帰すべき事由により損害を被った場合、お客様は現実には発生した直接かつ通常の損害に限り弊社に請求できるものとします。弊社が負担する損害賠償の総額は、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 修理品に貼付けられたシール、装飾品、塗装、および刻印などについて弊社は責任を負いません。
- 製品の故障によって発生した設置工事費、人件費など、および故障により製品を使用できないことによる逸失利益、代替品の費用などの損害については、弊社は一切の費用負担を行いません。
- 交換または修理完了後の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日、または製品引き渡し後6か月の満了日のいずれかの長い方とします。
- お客様宛に送付した本製品が宛先不明などの理由により弊社に返送され、弊社の通知後1か月経過しても回答がない場合、お客様が本製品の所有権を弊社へ移転することに同意したものとみなします。
- 弊社が無償修理などの手段として代替品との交換を選択した場合に、修理品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただくことがあります。
- 譲渡品、中古品、転売品(オークション購入などを含む)については、この規定に記載される保証の適用範囲外とします。
- 本製品の修理期間中、代替機器の提供は行いません。
- 本製品の出張修理は行いません。
- 本保証サービスは、日本国外からは利用できません。

本保証書は、当社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＝マスプロ電気株式会社＝ 技術相談

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80
インターネット www.maspro.co.jp



0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは **052-805-3366**
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

＝マスプロ電気＝

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。